



雫石町の観光マスコットキャラクター

「しずくちゃん」。雫石あねっこをモチーフにした、
可愛いキャラクターです。

令和7年(2025 年)

雫石町観光客入込調査報告書



SHIZUKUISHI
— 70th Anniversary —

雫石町観光商工課

目 次

I. 調査概要

1 雫石町における観光統計調査の概要	1
(1)調査の目的	
(2)各統計調査種目	
(3)調査期間	
(4)調査方法	
2 調査・本書に関する注意事項	2
(1)調査に関する事項	
(2)本書に関する事項	
3 用語の定義	4
(1)入込調査に関する用語	
(2)社会的要因に関する用語	
4 入込調査ポイント(観光施設)一覧表	6

II. 本編

1 観光レクリエーション客の入込動向	7
2 観光地年別入込状況	12
3 観光地別月別入込状況	16
4 観光資源別入込状況	17
5 利用交通機関の状況	19
6 県外教育旅行客の入込状況	20
7 外国人観光客の入込状況	23
8 2025～2026シーズン・スキー客入込状況	26
9 雫石町観光レクリエーション客入込数の推移	28

I. 調査概要

1 雫石町における観光統計調査の概要

(1) 調査の目的

雫石町内の観光地における観光客の動向等を把握し、効果的な観光振興策を進めるための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 各統計調査種目

①基本統計

ア. 観光レクリエーション客入込調査

観光レクリエーション客の次の項目について、毎月調査を実施。

- ・ 県内・県外別入込数
- ・ 日帰・宿泊別入込数
- ・ 利用交通機関別入込数

②その他の統計

ア. 外国人観光客入込調査

外国人観光客の入込数について、国別（日帰・宿泊別）に毎月調査を実施。

イ. 教育旅行客入込調査

学校、学習塾、スポーツ合宿など、教育や学習の一環として訪問した教育旅行客の次の項目について、毎月調査を実施。（教育旅行に含まれるものは、修学旅行、林間学校、スキー旅行、スポーツ合宿(大会)など。）

- ・ 都道府県別
- ・ 学校数（数）
- ・ 人員
- ・ 見学・体験等
- ・ 宿泊の有無

ウ. シーズン・スキー客入込調査

冬季の観光振興を図るための基礎資料を得ることを目的に、スキーのシーズンに合わせ、前年の12月からシーズンに該当する年の4月までを期間として、雫石町内3つのスキー場を対象に毎月実施。

(3) 調査期間

令和7年1月1日 ～ 令和7年12月31日

(4) 調査方法

毎月調査については、依頼文書及び調査様式を送付し、様式内に必要事項を記入のうえ、メール、FAX等で担当まで報告。また、毎月の報告期限については依頼文書において照会している。

2 調査・本書に関する注意事項

(1) 調査に関する事項

本調査は、平成 21 年雫石町入込調査報告書まで岩手県の共通基準に基づいた調査により、入込客数の集計を行ない報告書にしていた。それまでに岩手県が行なっていた調査は、従来の全国共通基準に従った方法であったが、その共通基準が平成 22 年に大幅な変更となった。主な変更点としては次のとおりである。

①観光レクリエーション客入込統計の主な変更点（平成 22 年 2 月、岩手県）

項 目	平成 21 年以前の調査基準 [調査名：観光レクリエーション客入込 調査]	平成 22 年以降の調査基準 [調査名：観光地点等入込客数調査]
調査地点	・市町村が定める調査地点	・月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が 半分未満と判断される地点 ・観光入込客数が適切に把握できる地点 ・ <u>前年の入込客数が年間入込客数 1 万人以上 もしくは前年の特定月の入込客数 5 千人以上 の地点</u>
調査箇所数	124 観光地（754 箇所以上）	約 350 箇所
報告回数	年 4 回（四半期毎）	年 4 回（四半期毎）
公表回数	年 1 回（県観光統計概要として公表）	年 4 回（四半期毎）

これは、全国共通基準に基づき岩手県で行なう調査である。しかし、市町村毎の調査については県で行なう統計調査と統一する必要がない旨の説明があったことから、雫石町で行なう入込客数調査については、以前まで行なっていた調査を一部変更し継続することとした。変更事項については次のとおりである。

②観光レクリエーション客入込統計の主な変更点（雫石町）

項 目	平成 21 年以前の調査基準	平成 22 年以降の調査基準
観光資源	・ 自然系観光資源（温泉以外・温泉） ・ 人文系観光資源（行・祭事） ・ 展示見学教育施設 ・ 野外活動施設（スキー以外・スキー）	・ 左記標記の観光資源（4 つの観光資源） ・ 都市型観光資源 ・ その他観光資源（道の駅等） ※用語の定義を参照
調査地点	・ 観光資源に伴った観光施設	・ 以前までの観光施設 ・ 新たな観光資源により追加した観光施設 道の駅「雫石あねっこ」(売店・レストラン)、 農家レストラン「らら」、松ぼっくり
調査箇所数	94 箇所	97 箇所
公表回数	年 2 回（速報版・確定版）	年 2 回（速報版・確定版）
観光資源の追加理由	・ 以前までの調査については、食・グルメ、その他都市型観光（買物等）、道の駅（入浴施設以外）を含めておらず、雫石町内への正確な入込客数を把握できていなかった。そこで、平成 22 年より都市型観光資源、その他観光資源（道の駅等）を追加して、より正確な入込客数を把握することとした。 ・ 都市型観光資源、その他観光資源（道の駅等）は、現在、岩手県が行なっている観光統計基準にあるもので、平成 22 年より新たに追加された観光資源である。この観光資源が追加になったことから、当町の統計調査でも追加することとした。	

（２）本書に関する事項

雫石町観光客入込調査報告書については、本編において平成 22 年以降に行なった調査基準を用いたデータで比較分析を行ない、参考資料で平成 21 年以前の調査基準を用いた平成 22 年までの推移を記載する。

3 用語の定義

本書で使用する主な統計用語の定義は、次に説明しているとおりである。

(出典先：平成 29 年雫石町観光統計調査要領)

(1) 入込調査に関する用語

①【観光レクリエーション客】

居住地が観光地の地域内であるか否か、若しくは、外出距離の遠近にかかわらず、観光レクリエーションの目的で、雫石町内の観光施設、行・祭事、イベントなどを訪問した者をいう。

②【人回】

観光レクリエーション客の入込数の単位であり、令和 6 年 12 月末日において、雫石町内の観光施設、行・祭事、イベントをゲートとしてカウントする延べ人員数をいう。

③【外国人観光客】

観光施設、行・祭事、イベントなどに、観光レクリエーションの目的で訪問した外国人客をいう。

④【県外教育旅行客】

学校、学習塾、スポーツ少年団による合宿など、教育や学習、スポーツの一環として、観光施設、行・祭事、イベントなどを訪問した県外に学校が所在する旅行客をいう。

⑤【自然系観光資源】

雫石町内の山岳、高原、湖沼、特殊地形、植物で、観光的に魅力のあるもの及び温泉をいう。

⑥【人文系観光資源】

雫石町内の神社、仏閣、庭園、町並み、旧街道、歴史的建造物、近代的建造物、史跡、名所（文学碑、銅像、墓、生家など）、行・祭事、イベント、郷土芸能、伝統工芸術、地域風俗、味覚などで、観光的に魅力のあるものをいう。

⑦【展示見学教育施設】

雫石町内の歴史民俗資料館、美術館、産業観光施設等をいう。

⑧【野外活動施設】

雫石町内のハイキングコース、自然歩道、自然散策路、テニスコート、キャンプ場、ゴルフ場、スキー場、観光農林業、観光牧場、レジャーランド、公園、プール等をいう。

⑨【都市型観光資源】

雫石町内の商業施設、地区・商店街、食・グルメ、その他都市型観光（買物・食等）等をいう。

⑩【その他観光資源】

他に分類されない観光地点のことをいう。また、道の駅やパーキングエリア等はここに含める。ただし、単なる休憩機能のみの施設は除くこととする。

⑪【定路線交通機関】

鉄道、定期バスなど、定期的に運行している交通機関をいう。

⑫【その他（交通機関）】

定路線交通機関、貸切バス、自家用車以外の交通機関のことをいう。例としては、レンタカー等がこれに含まれる。

(2) 社会的要因に関する用語

○主な用語

①【雫石・冬フェスタ in 小岩井農場】

開催終了となった「いわて雪まつり」の後継として、令和5年に初開催したイベント。令和7年は3回目として、1月25日～2月16日までの23日間小岩井農場まきば園を会場に開催された。そりが楽しめる広場、スノートレイン、スノーフォレストツアーなどの体験型アクティビティの他、かまくらの中で鍋を楽しむ「かまくら GyuGyu」などが登場。昨年のような雪不足もなく、会期も長くなったものの来場者数は伸びず、昨年と同じ20,000人となった。

②【KOIwai Winter Lights - 銀河農場の夜 2025】

小岩井農場まきば園で開催される冬のイルミネーションイベントで、今年12回目の開催となった。今年は『小岩井農場の四季』をテーマに、菜の花畑を模した「光の迷路」や「一本桜」、夏の農場を描く「キャンパスイルミ」など、前回を上回る約70万球の光でまきば園が彩られ、子ども連れやカップルで賑わったが、年末年始など悪天候が多かったことで来場者数はあまり伸びず、46,000人に留まった。令和7年12月21日から令和8年1月18日まで開催。

○補足用語

①【岩手山の入山規制】

常時活動監視がなされている岩手山では、火山性地震の増加や山体膨張の観測などにより、噴火警戒レベルが「レベル2：火口周辺規制」に引き上げられたことで、令和6年10月2日にすべての登山口からの入山が規制され、令和7年も規制が継続された。

②【クマの人里への出没多発】

今年食料となるブナやドングリが凶作となったことでエサ不足となり、全国で、特に東北地方で人里へのクマの出没および物的・人的被害が急増。町内でも連日目撃情報が寄せられ、人身被害も発生した。昨年は出産したクマも多く、子連れのクマの出没も目立った。連日の報道等により宿泊のキャンセルが発生した他、露天風呂の休止や野外イベントの中止、営業期間の短縮等、観光施設への影響も小さくなかった。

③【中国から日本への渡航自粛】

11月、国会における高市首相の台湾有事に係る発言に中国が反発。中国政府による日本への渡航自粛が呼びかけられたことで、団体旅行のキャンセル、中国本土と日本を結ぶ航空便の減便などが発生。FIT旅行者への影響は少なかったものの、中国からの観光客数が減少。国内への中国からの訪日客数としては、11月は昨年同等だったものの12月は昨年同月の半数程度まで落ち込んだ。町内へは元々入込が少なく、大きな影響は見られなかった。

4 入込調査ポイント（観光施設）一覧表 ※調査にご協力いただいていない施設も含まれています。

小岩井地区	小岩井農場	鶯宿地区	温泉民宿 川久(休館中)
	ヴィラ館々倶楽部		八幡平カントリークラブ
	ペンション イーハートブ花の郷(閉館)		フラワー＆ガーデン森の風
	ペンション カンタービレ		鶯宿集会所
	B&Bホテルアルカディア(休館中)		男助山登山
	雫石リゾートホテル		しずくいし YU-YU ファーム
	雫石・冬フェスタ	国見・橋場地区	石塚旅館
長山・網張地区	岩手高原スノーパーク		森山荘
	休暇村岩手網張温泉 本館		道の駅「雫石あねっこ」
	休暇村岩手網張温泉 温泉館		小柳沢砂防公園オートキャンプ場
	網張温泉スキー場		国見山荘(閉館)
	網張展望リフト		国見キャンプ場(閉場)
	網張温泉キャンプ場		駒ヶ岳登山
	網張ビクターセンター	滝ノ上地区	滝観荘
	あみはりロッジ(12月末閉館)		滝峽荘
	ペンション さんりんしゃ		みやま荘(休館中)
	ペンション びつき(休館中)		滝ノ上登山
	ペンション HAIJI	玄武地区	玄武風柳亭(閉館)
	プチホテル クロくまくん(休館中)		ロッジたちばな
	ペンション ベルクレール		四季の里
	ペンション ドア		温泉ペンション くまさんち
	RV パーク岩手山(ペンションもみじ)	西根地区	雫石プリンスホテル
	ペンション 山賊		雫石ゴルフ場
	B&B ロックイーグル(休館中)		雫石スキー場
	民宿 ながわ		ペンション シャラ
	民宿 杉清荘(休館中)		ペンション パオ
	民宿 坂井荘		ペンション ビアフィールド(休館中)
	民宿 長助(休館中)		Soil
	コテージ クレソン		民宿 大柳(閉館)
	農家レストランらら		民宿 そで(閉館)
	松ぼっくり		民宿 しらかば
	県営屋内温水プール		民宿 高見荘
	ゆこたんの森		民宿 雫石荘
	ありね山荘		民宿 大工
	岩手山登山		
鶯宿地区	ホテル森の風鶯宿	その他地区	上野旅館(閉館)
	長栄館(閉館)		佐々木旅館
	加賀助		しずく×CAN
	ホテル偕楽苑(11月閉館)		ホテル 花の湯(休館中)
	寿広園(8月末閉館)		御所湖広域公園(乗り物広場)
	ニュー鶯山荘(閉館)		御所湖広域公園(ファミリーランド)
	ホテル鶯		御所湖広域公園(町場地区園地)
	清光荘		御所湖川村美術館
	川長		歴史民俗資料館
	鶯泉館		ケツパレランド
	かどや旅館(閉館)		自由屋サマーゲレンデ
	石塚旅館(閉館)		雫石川(溪流釣り)
	赤い風車(8月末閉館)		元祖しずくいし軽トラ市
	温泉民宿 あけぼの荘		雫石よしやれ祭
	温泉民宿 とちない(閉館)		南部よしやれ全国大会
	温泉民宿 小枝		しずくいし産業まつり
	温泉民宿 栄弥		岩手山ろくファミリーマラソン
	温泉民宿 けむやま(閉館)		

Ⅱ. 本編

1 観光レクリエーション客の入込動向

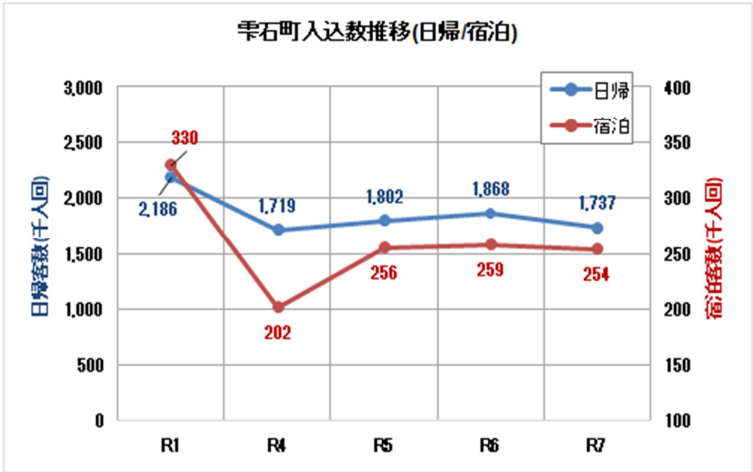
(1) 概況

令和7年の観光レクリエーション客入込数は減少に転じ、**1,991,173人回**で、昨年より135,517人回減の93.6%、コロナ禍前の令和元年との比較では525,159人回減の79.1%となった。コロナ禍以降緩やかに増加を続けていたが、減少に転じた。岩手山の入山規制による入込への影響は顕著には見られなかったが、夏以降のクマの人里への出没多発、施設の閉館による影響があったことに加え、一部の施設による集計方法の変更が主な要因である。

日帰客数は、**1,737,019人回**で、前年比131,166人回減(93.0%)/R1年比449,459人回減(79.4%)。
宿泊客数は、**254,154人回**で、前年比4,651人回減(98.3%)/R1年比75,700人回減(77.1%)。

なお、12月末時点で4施設が閉館・廃業したが、令和8年には昨年閉館した施設を含め2施設がリニューアルオープン、1施設が新規開業する予定で、入込の回復が期待される。

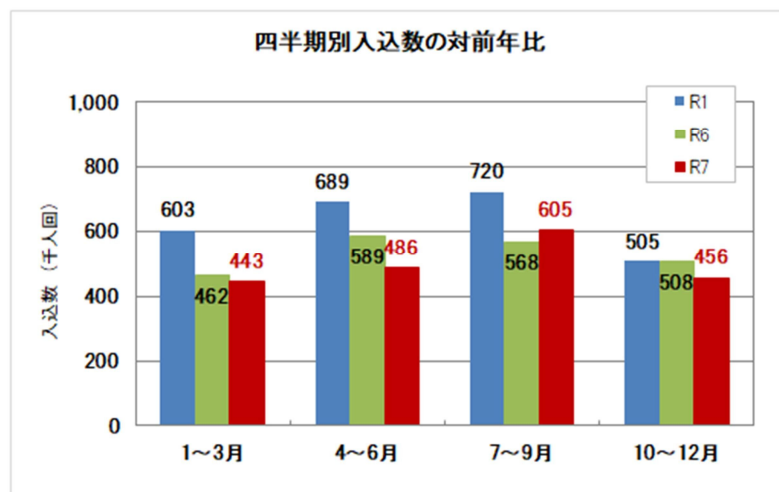
	R1	R4	R5	R6	R7
日帰	2,186,478	1,718,803	1,802,193	1,868,185	1,737,019
宿泊	329,854	202,098	255,552	258,505	254,154
総入込数	2,516,332	1,920,901	2,057,745	2,126,690	1,991,173



(2) 詳細

①四半期別

	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	計
R1	602,574	689,232	719,570	504,956	2,516,332
R6	462,289	588,588	567,925	507,888	2,126,690
R7	443,415	486,390	605,348	456,020	1,991,173
前年比	95.9%	82.6%	106.6%	89.8%	93.6%
R1年比	73.6%	70.6%	84.1%	90.3%	79.1%



○1～3月 (単位: 人回)

	1月	2月	3月	1～3月計
R1	186,423	269,703	146,448	602,574
R6	165,134	173,934	123,221	462,289
R7	162,916	158,744	121,755	443,415
前年比	98.7%	91.3%	98.8%	95.9%
前年差	-2,218	-15,190	-1,466	-18,874
R1年比	87.4%	58.9%	83.1%	73.6%
R1年差	-23,507	-110,959	-24,693	-159,159

1月は雪が若干少なかったものの、2月に積雪が急増、3月にも降雪があったことでスキー場は予定の営業期間を満了した。一方で2月の豪雪による出控えや、雪害のため温泉施設が休館となったことなどで、全体の入込は昨年より少なくなったと見られる。

○4～6月 (単位: 人回)

	4月	5月	6月	4～6月計
R1	193,714	306,429	189,089	689,232
R6	191,002	233,919	163,667	588,588
R7	124,746	196,627	165,017	486,390
前年比	65.3%	84.1%	100.8%	82.6%
前年差	-66,256	-37,292	1,350	-102,198
R1年比	64.4%	64.2%	87.3%	70.6%
R1年差	-68,968	-109,802	-24,072	-202,842

4月、5月は雨の日が月の半分を占め、まとまった雨となった日も多く、さらにGW中もほとんどが雨となったことで日帰施設を中心に入込が減少。さらに集計方法の変更で数値が大きく変わった施設の影響もあり、昨年に比べて入込数の落ち込みが大きくなった。

○7～9 月（単位：人回）

	7月	8月	9月	7～9月計
R1	205,444	295,298	218,828	719,570
R6	154,032	231,650	182,243	567,925
R7	172,329	253,970	179,049	605,348
前年比	111.9%	109.6%	98.2%	106.6%
前年差	18,297	22,320	-3,194	37,423
R1年比	83.9%	86.0%	81.8%	84.1%
R1年差	-33,115	-41,328	-39,779	-114,222

7 月、8 月は猛暑に見舞われたが、7 月は天候に恵まれ入込数は増加した。一方 9 月は減少となったが、猛暑の影響で三ツ石山の紅葉が遅れたこと、8 月末での 2 つの温泉施設閉館も影響したと見られる。

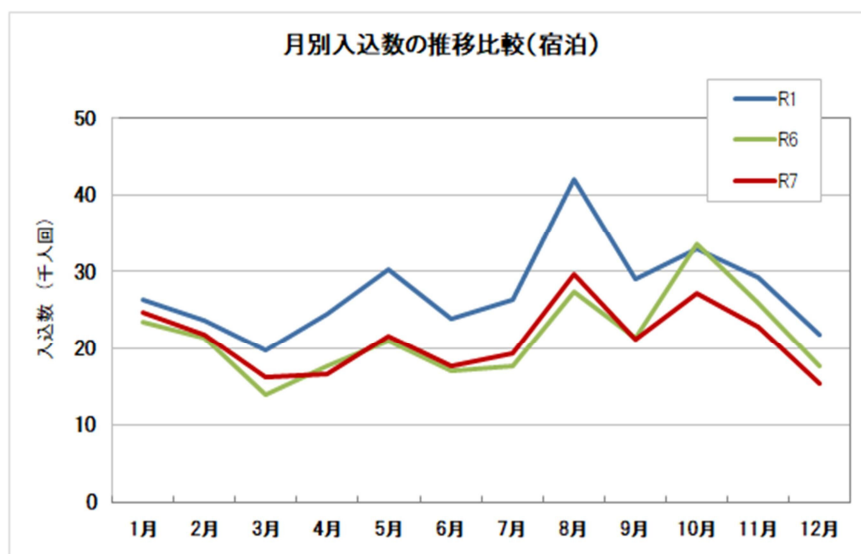
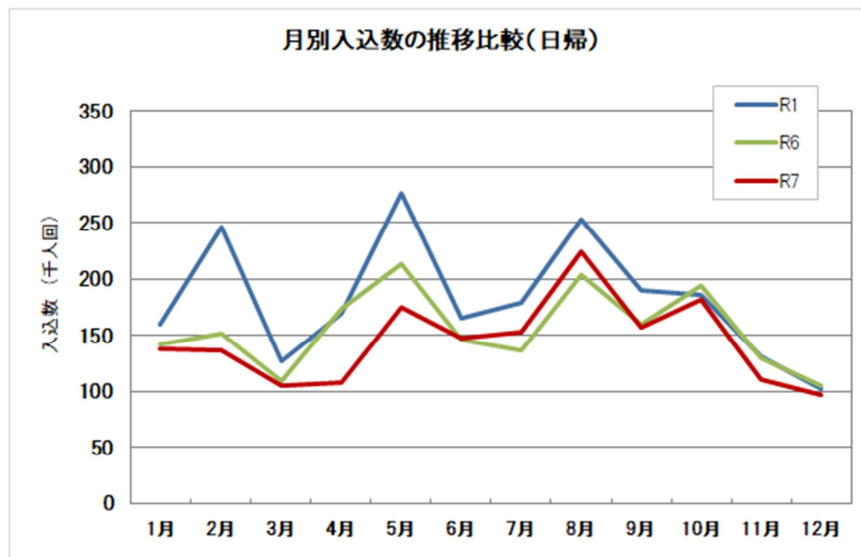
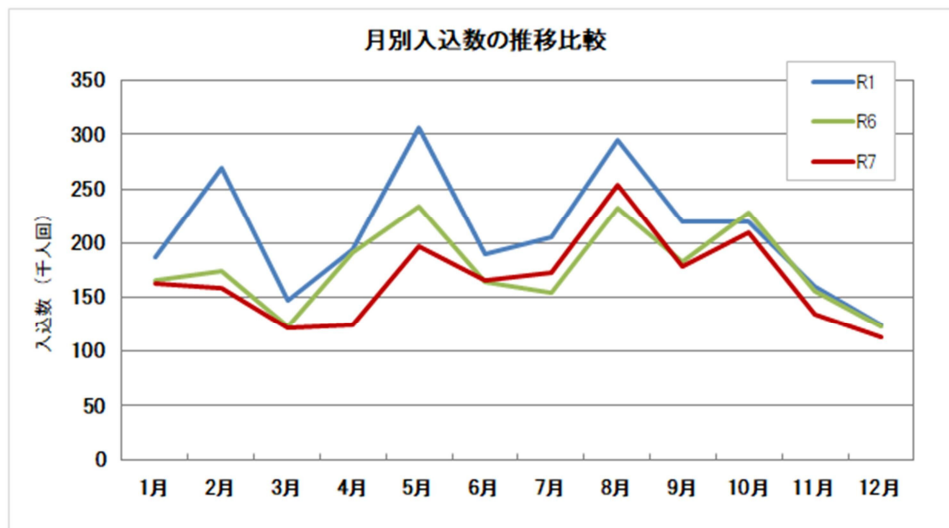
○10～12 月（単位：人回）

	10月	11月	12月	10～12月計
R1	219,787	160,192	124,977	504,956
R6	228,734	155,769	123,385	507,888
R7	209,031	133,782	113,207	456,020
前年比	91.4%	85.9%	91.8%	89.8%
前年差	-19,703	-21,987	-10,178	-51,868
R1年比	95.1%	83.5%	90.6%	90.3%
R1年差	-10,756	-26,410	-11,770	-48,936

冬眠を前に人里へのクマの出没がさらに頻発したことで、イベントの中止、営業期間短縮などが発生。施設の閉館等クマ以外の要因もあるが、第 2 四半期に次いで大きな減少となった。

②月別

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
日帰	R1	160,124	246,090	126,649	169,130	276,159	165,189	179,142	253,199	189,803	186,858	131,043	103,092	2,186,478
	R6	141,668	152,478	109,221	173,294	212,910	146,555	136,408	204,189	160,772	195,070	129,832	105,788	1,868,185
	R7	138,175	136,842	105,615	108,150	175,066	147,297	152,968	224,398	157,772	181,956	110,960	97,820	1,737,019
	前年比	97.5%	89.7%	96.7%	62.4%	82.2%	100.5%	112.1%	109.9%	98.1%	93.3%	85.5%	92.5%	93.0%
	前年差	-3,493	-15,636	-3,606	-65,144	-37,844	742	16,560	20,209	-3,000	-13,114	-18,872	-7,968	-131,166
	R1年比	86.3%	55.6%	83.4%	63.9%	63.4%	89.2%	85.4%	88.6%	83.1%	97.4%	84.7%	94.9%	79.4%
	R1年差	-21,949	-109,248	-21,034	-60,980	-101,093	-17,892	-26,174	-28,801	-32,031	-4,902	-20,083	-5,272	-449,459
宿泊	R1	26,299	23,613	19,799	24,584	30,270	23,900	26,302	42,099	29,025	32,929	29,149	21,885	329,854
	R6	23,466	21,456	14,000	17,708	21,009	17,112	17,624	27,461	21,471	33,664	25,937	17,597	258,505
	R7	24,741	21,902	16,140	16,596	21,561	17,720	19,361	29,572	21,277	27,075	22,822	15,387	254,154
	前年比	105.4%	102.1%	115.3%	93.7%	102.6%	103.6%	109.9%	107.7%	99.1%	80.4%	88.0%	87.4%	98.3%
	前年差	1,275	446	2,140	-1,112	552	608	1,737	2,111	-194	-6,589	-3,115	-2,210	-4,351
	R1年比	94.1%	92.8%	81.5%	67.5%	71.2%	74.1%	73.6%	70.2%	73.3%	82.2%	78.3%	70.3%	77.1%
	R1年差	-1,558	-1,711	-3,659	-7,988	-8,709	-6,180	-6,941	-12,527	-7,748	-5,854	-6,327	-6,498	-75,700
計	R1	186,423	269,703	146,448	193,714	306,429	189,089	205,444	295,298	218,828	219,787	160,192	124,977	2,516,332
	R6	165,134	173,934	123,221	191,002	233,919	163,667	154,032	231,650	182,243	228,734	155,769	123,385	2,126,690
	R7	162,916	158,744	121,755	124,746	196,627	165,017	172,329	253,970	179,049	209,031	133,782	113,207	1,991,173
	前年比	98.7%	91.3%	98.8%	65.3%	84.1%	100.8%	111.9%	109.6%	98.2%	91.4%	85.9%	91.8%	93.6%
	前年差	-2,218	-15,190	-1,466	-66,256	-37,292	1,350	18,297	22,320	-3,194	-19,703	-21,987	-10,178	-135,517
	R1年比	87.4%	58.9%	83.1%	64.4%	64.2%	87.3%	83.9%	86.0%	81.8%	95.1%	83.5%	90.6%	79.1%
	R1年差	-23,507	-110,959	-24,693	-68,968	-109,802	-24,072	-33,115	-41,328	-39,779	-10,756	-26,410	-11,770	-525,159



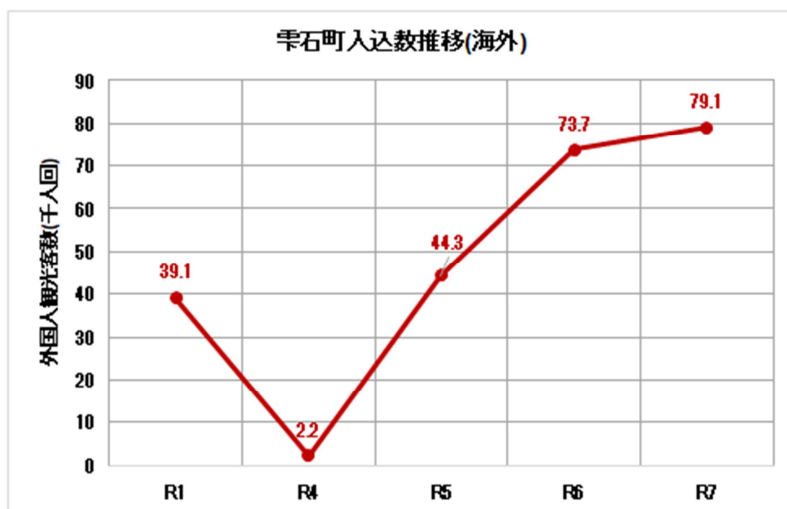
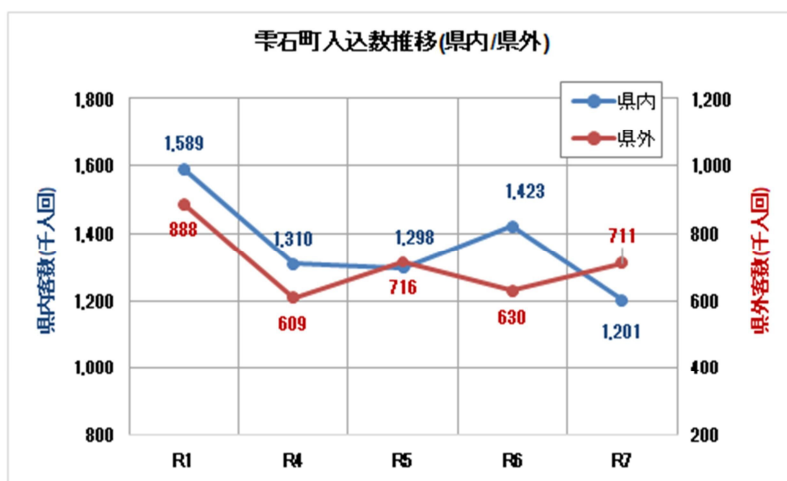
②発地別

県外客の入込数には外国人旅行者の人数も含まれているため、外国人を分けて比較を行った。

昨年わずかに増加した県内客だったが本年は減少に転じ、222,573人回減の1,200,619人回で前年比84.4%、コロナ禍前の約75%となった。県内客は特に4月、5月の減少が著しかったが、この期間雨が多く外出を控えたためと思われる。一方県外客は、昨年より増加し、81,707人回増の711,491人回で前年比113.0%、令和元年比80.1%となった。4月を除くすべての月で昨年から増加し、特に1月は前年同月の118.9%となった。

外国人観光客に関しては、全国的な増加の波を受け5,349人回増の79,063人回で、前年比107.3%、コロナ禍前の令和元年比では202.3%と、伸びは鈍化したものの引き続き増加し続けている。入込のほとんどはスキーシーズンの1月、2月で、この2か月で年間の3割以上を占める。

	R1		R5			R6			R7		
		前年比		前年比	R1年比		前年比	R1年比		前年比	R1年比
県内	1,589,390	99.0%	1,297,776	99.1%	81.7%	1,423,192	109.7%	89.5%	1,200,619	84.4%	75.5%
県外	887,851	99.6%	715,658	117.6%	80.6%	629,784	88.0%	70.9%	711,491	113.0%	80.1%
海外	39,091	106.2%	44,311	2009.6%	113.4%	73,714	166.4%	188.6%	79,063	107.3%	202.3%



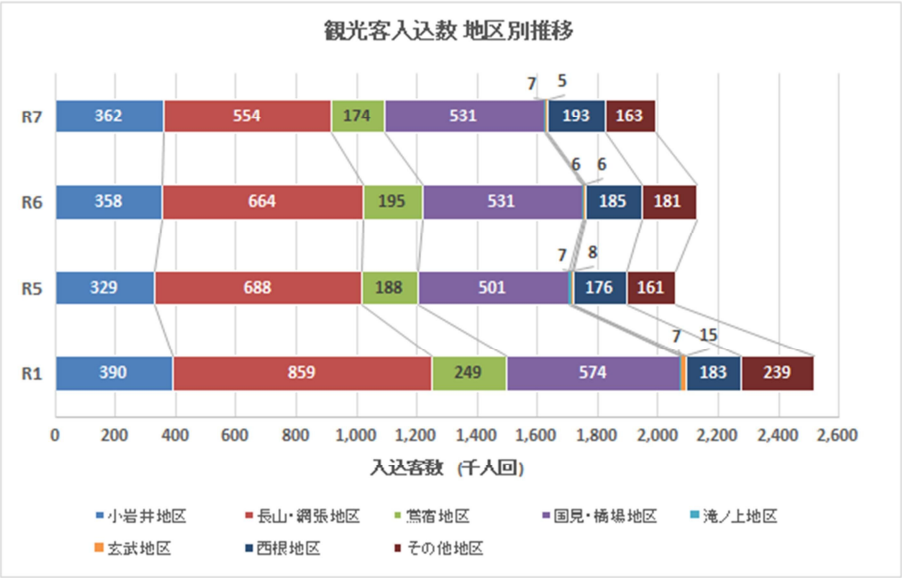
2 観光地年別入込状況

①地区別概要

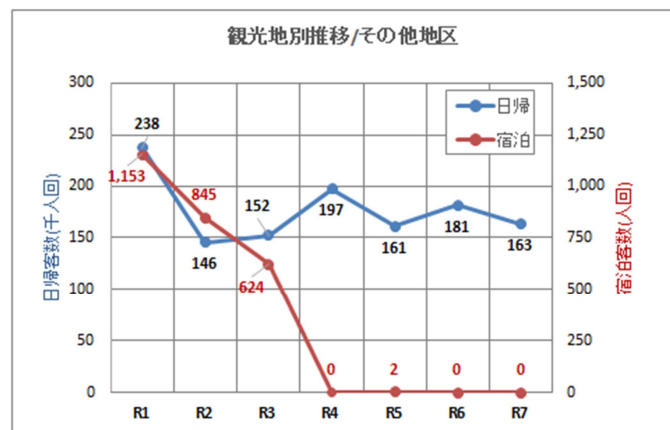
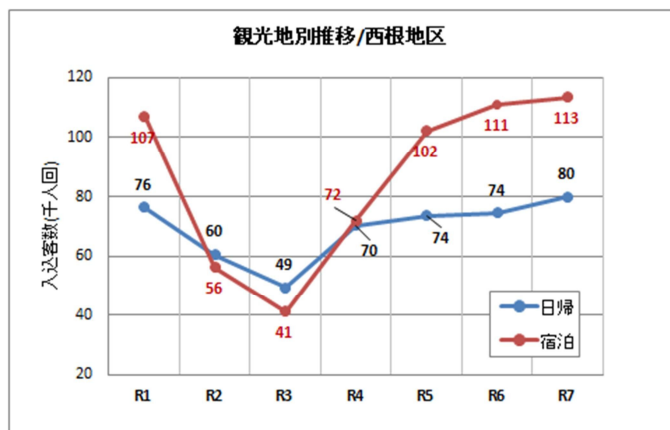
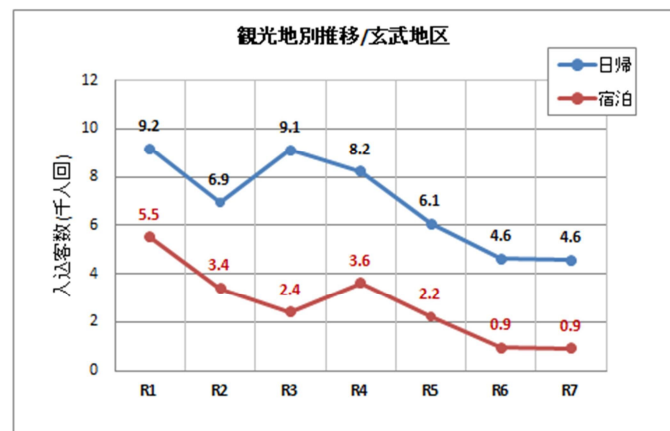
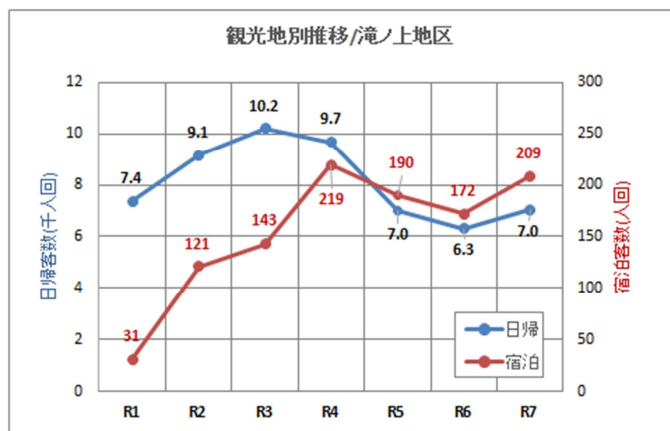
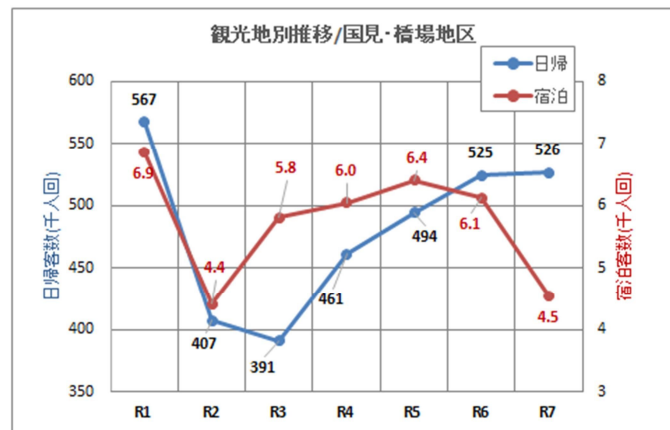
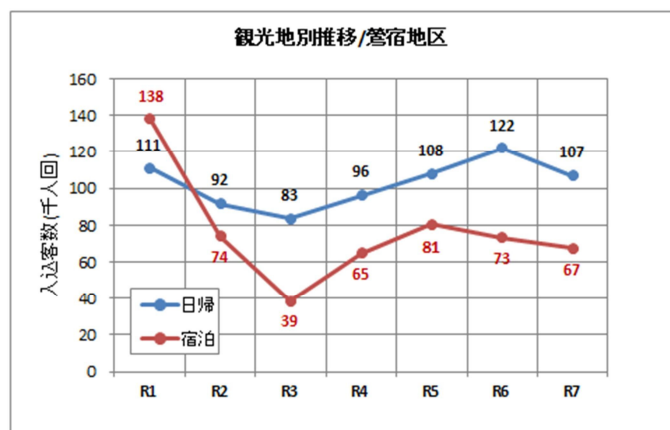
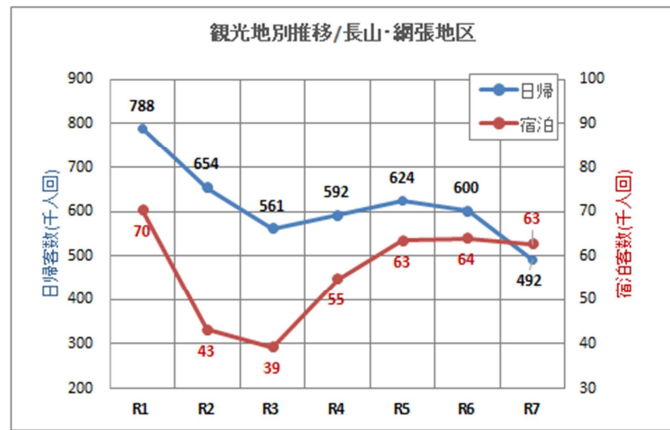
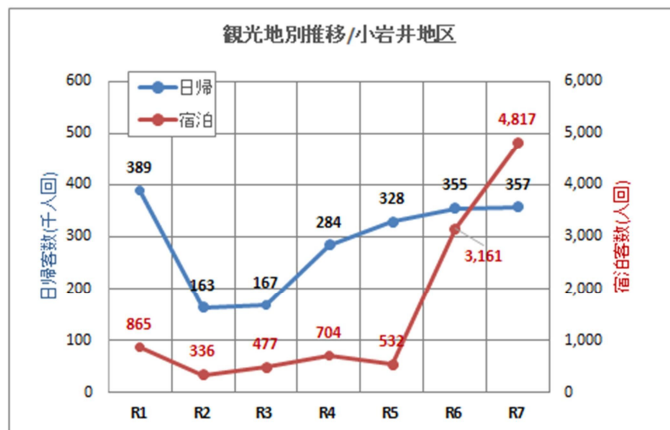
小岩井地区と西根地区は、令和5年以降入込増加を続けているが、長山・網張地区と鶯宿地区では令和6年の増加から減少に転じた。鶯宿地区は施設閉館の、長山・網張地区は集計方法を変更した施設の影響が大きいと見られる。

②日帰/宿泊別

宿泊客数は多くの地区がほぼ昨年並みとなったが、施設の閉館や雪害による宿泊営業の休止により減少した地区もあり、全体としては微減。日帰客も昨年並みの地区が多かったが、閉館等の影響により減少が目立った地区があったことで、全体としては昨年の93.0%に減少した。



観光地別		年度		R1			R5			R6			R7		
		人回	前年比	%	人回	前年比	R1年比	%	人回	前年比	R1年比	%	人回	前年比	R1年比
小岩井地区	日帰	389,090	100.3%		328,237	115.5%	84.4%		354,927	108.1%	91.2%		357,292	100.7%	91.8%
	宿泊	865	108.3%		532	75.6%	61.5%		3,161	594.2%	365.4%		4,817	152.4%	556.9%
	計	389,955	100.3%		328,769	115.4%	84.3%		358,088	108.9%	91.8%		362,109	101.1%	92.9%
長山・網張地区	日帰	788,350	102.3%		624,276	105.5%	79.2%		600,267	96.2%	76.1%		491,556	81.9%	62.4%
	宿泊	70,286	100.1%		63,422	115.7%	90.2%		63,932	100.8%	91.0%		62,720	98.1%	89.2%
	計	858,636	102.1%		687,698	106.3%	80.1%		664,199	96.6%	77.4%		554,276	83.5%	64.6%
鶯宿地区	日帰	110,910	98.2%		107,802	112.0%	97.2%		122,015	113.2%	110.0%		106,892	87.6%	96.4%
	宿泊	138,153	95.8%		80,670	124.4%	58.4%		73,268	90.8%	53.0%		67,494	92.1%	48.9%
	計	249,063	96.9%		188,472	117.0%	75.7%		195,283	103.6%	78.4%		174,386	89.3%	70.0%
国見・橋場地区	日帰	567,453	99.5%		494,323	107.1%	87.1%		524,532	106.1%	92.4%		526,466	100.4%	92.8%
	宿泊	6,855	104.5%		6,406	106.0%	93.5%		6,127	95.6%	89.4%		4,538	74.1%	66.2%
	計	574,308	99.6%		500,729	107.1%	87.2%		530,659	106.0%	92.4%		531,004	100.1%	92.5%
滝ノ上地区	日帰	7,370	124.1%		7,003	72.4%	95.0%		6,308	90.1%	85.6%		7,048	111.7%	95.6%
	宿泊	31	—		190	86.8%	612.9%		172	90.5%	554.8%		209	121.5%	674.2%
	計	7,401	124.6%		7,193	72.7%	97.2%		6,480	90.1%	87.6%		7,257	112.0%	98.1%
玄武地区	日帰	9,187	104.1%		6,052	73.6%	65.9%		4,618	76.3%	50.3%		4,569	98.9%	49.7%
	宿泊	5,512	115.6%		2,209	61.0%	40.1%		935	42.3%	17.0%		913	97.6%	16.6%
	計	14,699	108.2%		8,261	69.8%	56.2%		5,553	67.2%	37.8%		5,482	98.7%	37.3%
西根地区	日帰	76,299	97.2%		73,527	104.8%	96.4%		74,461	101.3%	97.6%		79,897	107.3%	104.7%
	宿泊	106,999	97.4%		102,121	142.1%	95.4%		110,910	108.6%	103.7%		113,463	102.3%	106.0%
	計	183,298	97.3%		175,648	123.7%	95.8%		185,371	105.5%	101.1%		193,360	104.3%	105.5%
その他地区	日帰	237,819	91.4%		160,973	81.7%	67.7%		181,057	112.5%	76.1%		163,299	90.2%	68.7%
	宿泊	1,153	81.8%		2	—	0.2%		0	—	0.0%		0	—	0.0%
	計	238,972	91.4%		160,975	81.7%	67.4%		181,057	112.5%	75.8%		163,299	90.2%	68.3%
合計	日帰	2,186,478	99.6%		1,802,193	104.9%	82.4%		1,868,185	103.7%	85.4%		1,737,019	93.0%	79.4%
	宿泊	329,854	97.7%		255,552	126.4%	77.5%		258,505	101.2%	78.4%		254,154	98.3%	77.1%
	計	2,516,332	99.3%		2,057,745	107.1%	81.8%		2,126,690	103.4%	84.5%		1,991,173	93.6%	79.1%



③発地別

県内/県外の入込客数については、按分による報告も多いため注意が必要。

小岩井地区では県内客と県外客の入込の割合が逆転、県外客が大きく伸びた。外国人観光客数も昨年の 118. 6%に増加

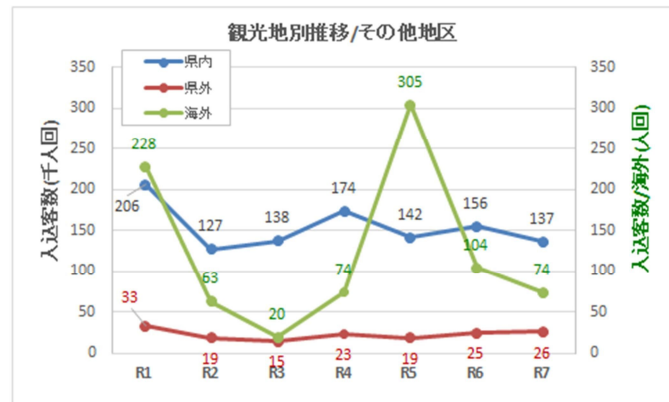
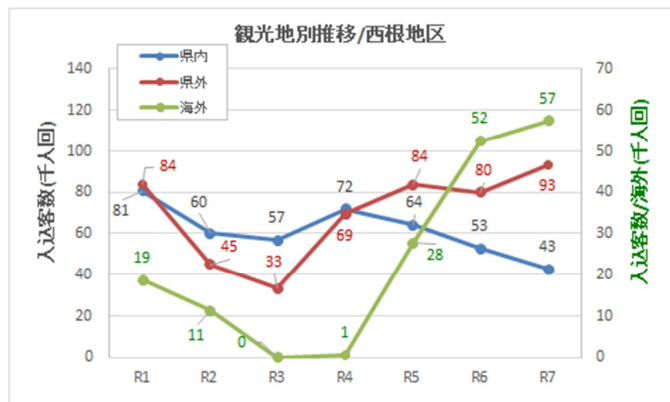
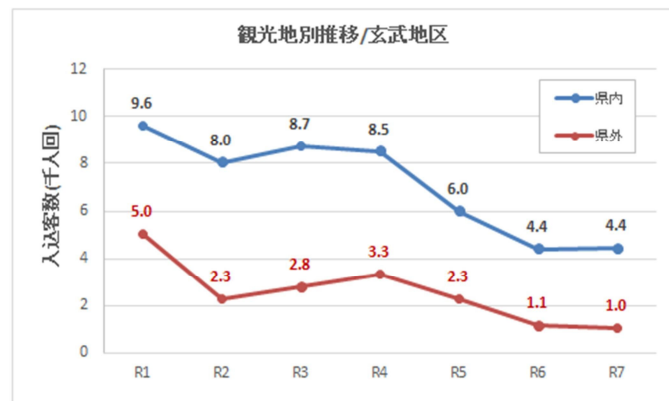
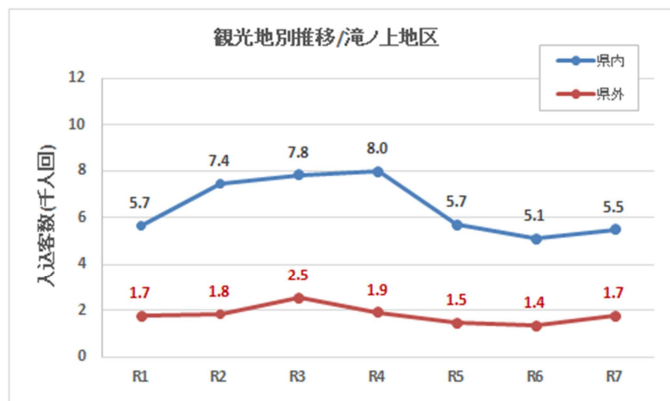
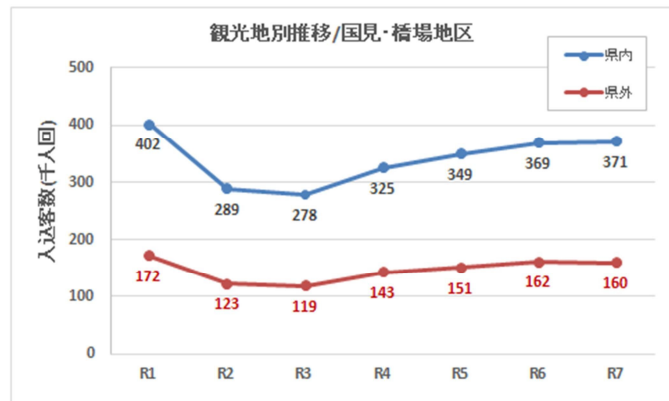
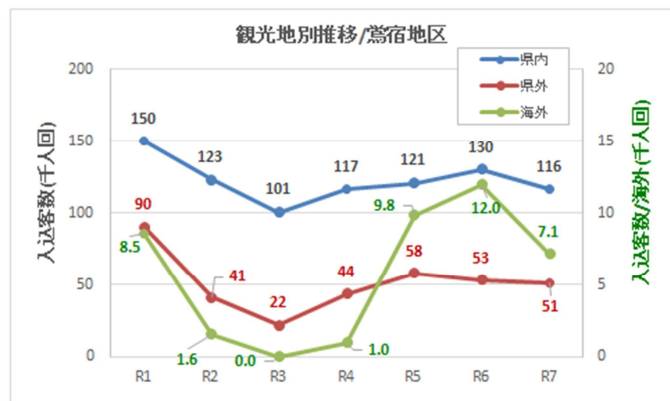
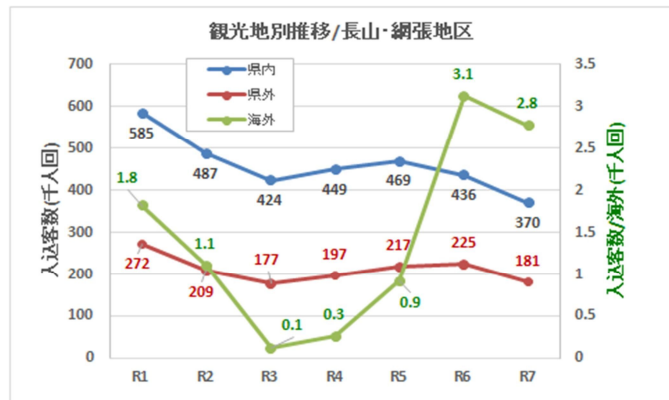
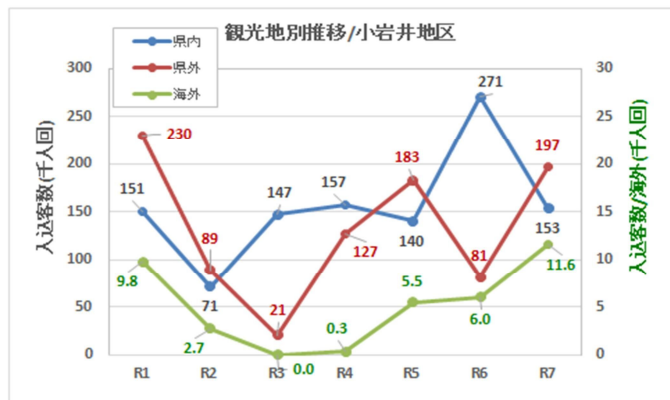
長山・網張地区では、集計方法を変更した施設による大幅な入込客数減少の影響が大きい。前年比では 80～90%程度、コロナ禍前との比較では国内客は 60%程度に減少したが、外国人観光客は、1. 5 倍ほどに伸びた。

また鶯宿地区では、国内客については日帰客が多かった 3 施設の閉館による影響が大きいとみられる。外国人観光客は、昨年 6 月に外国人観光客の入込が多かった施設が閉館した一方で、10 月に突発的に大幅増となったことで入込客数は増となったが、今年はそのような増加もなく、昨年の 6 割ほどに留まった。また、県内客は前年比 89. 5%、県外客は同 95. 6%で 10%ほどの減少だったが、コロナ禍前と比較すると、県内客で 77. 5%、県外客では 56. 3%に留まっている。

国見・橋場地区の国内客はほぼ昨年並み、玄武地区も県外客数が昨年の 9 割ほどとなったものの県内客数は昨年並みだった。

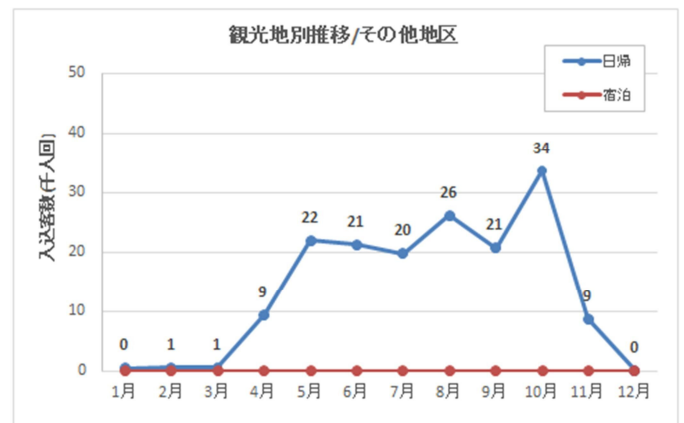
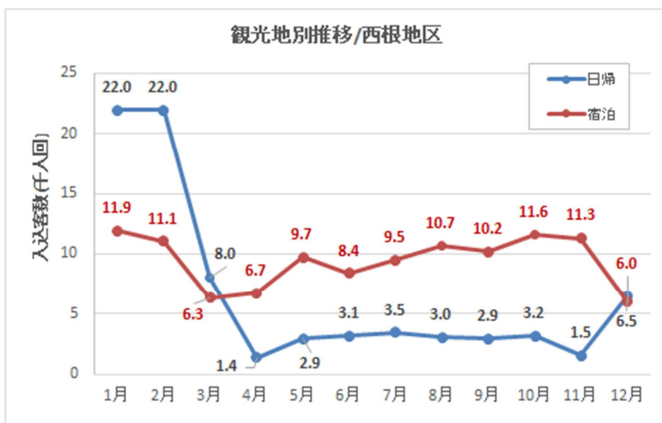
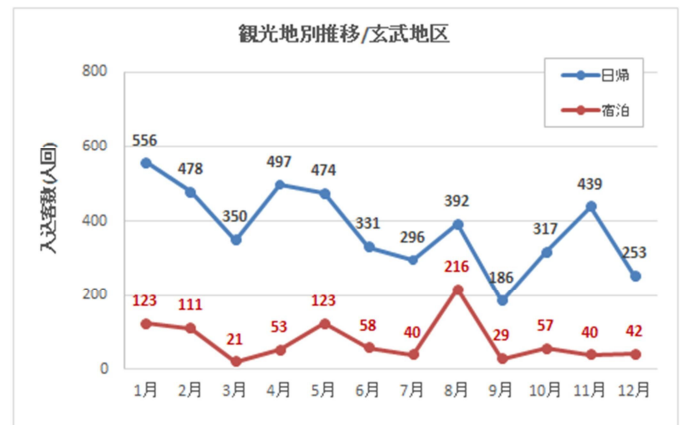
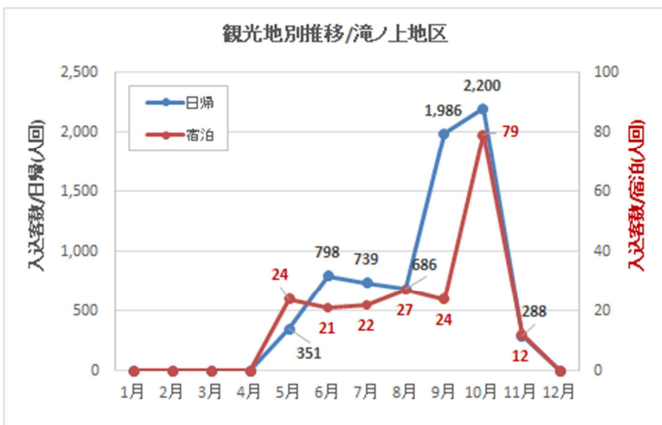
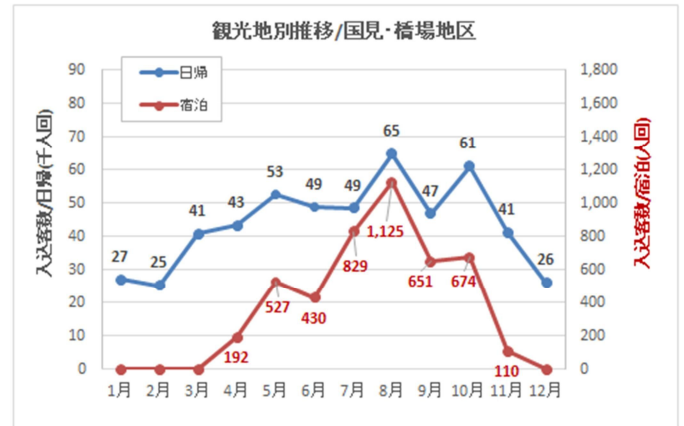
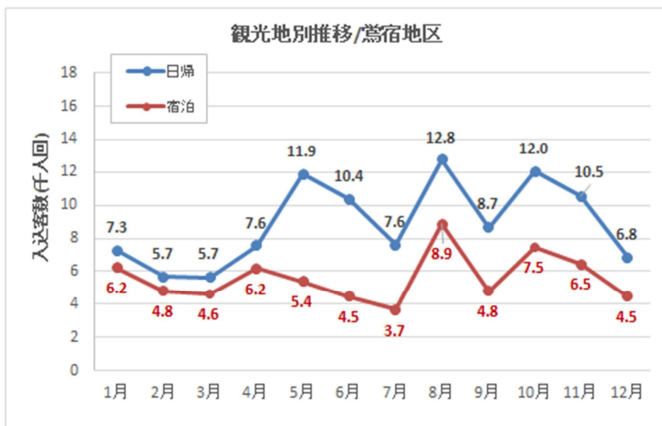
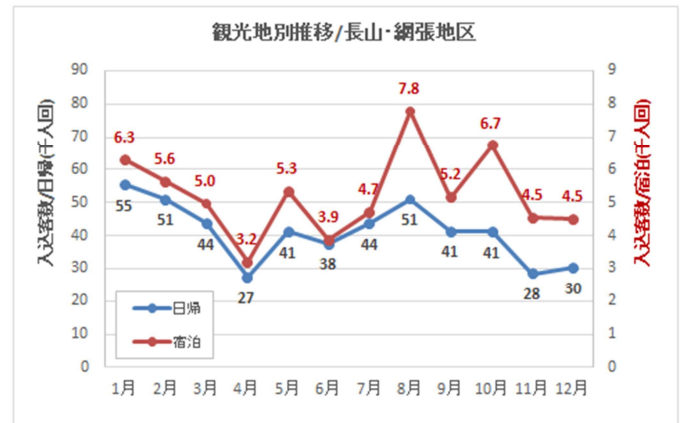
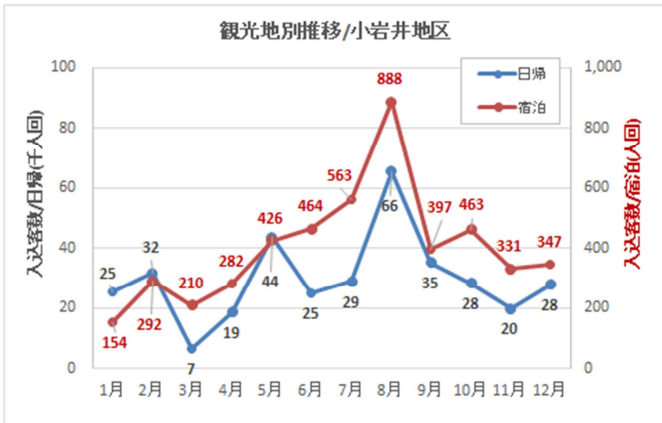
西根地区では、県内客が引き続き減少。昨年の約 8 割、コロナ禍前の約半数となった半面、県外客は昨年の 116. 5%、コロナ禍前の 111. 1%に増加。外国人観光客数も全地区の中で最も多く増加も続いており、昨年の 1. 1 倍、コロナ禍前との比較では約 3 倍となっている。

観光地別	年度	R1	R5	R6	R7		
						前年比	R1年比
小岩井地区	県内	150,516	140,165	270,575	153,393	56.7%	101.9%
	県外	229,671	183,126	81,495	197,128	241.9%	85.8%
	海外	9,768	5,478	6,018	11,588	192.6%	118.6%
	計	389,955	328,769	358,088	362,109	101.1%	92.9%
長山・網張地区	県内	584,626	469,349	435,741	370,141	84.9%	63.3%
	県外	272,192	217,430	225,329	181,358	80.5%	66.6%
	海外	1,818	919	3,129	2,777	88.8%	152.8%
	計	858,636	687,698	664,199	554,276	83.5%	64.6%
鶯宿地区	県内	150,323	120,716	130,160	116,437	89.5%	77.5%
	県外	90,195	57,907	53,157	50,809	95.6%	56.3%
	海外	8,545	9,849	11,966	7,140	59.7%	83.6%
	計	249,063	188,472	195,283	174,386	89.3%	70.0%
国見・橋場地区	県内	401,866	349,493	368,670	370,868	100.6%	92.3%
	県外	172,440	151,236	161,983	160,131	98.9%	92.9%
	海外	2	0	6	5	83.3%	250.0%
	計	574,308	500,729	530,659	531,004	100.1%	92.5%
滝ノ上地区	県内	5,656	5,710	5,114	5,491	107.4%	97.1%
	県外	1,745	1,483	1,356	1,749	129.0%	100.2%
	海外	0	0	10	17	170.0%	-
	計	7,401	7,193	6,480	7,257	112.0%	98.1%
玄武地区	県内	9,607	5,992	4,408	4,423	100.3%	46.0%
	県外	5,037	2,269	1,133	1,029	90.8%	20.4%
	海外	55	0	12	30	250.0%	54.5%
	計	14,699	8,261	5,553	5,482	98.7%	37.3%
西根地区	県内	80,691	64,314	52,813	42,649	80.8%	52.9%
	県外	83,932	83,574	80,089	93,279	116.5%	111.1%
	海外	18,675	27,760	52,469	57,432	109.5%	307.5%
	計	183,298	175,648	185,371	193,360	104.3%	105.5%
その他地区	県内	206,105	142,037	155,711	137,217	88.1%	66.6%
	県外	32,639	18,633	25,242	26,008	103.0%	79.7%
	海外	228	305	104	74	71.2%	32.5%
	計	238,972	160,975	181,057	163,299	90.2%	68.3%
合計	県内	1,589,390	1,297,776	1,423,192	1,200,619	84.4%	75.5%
	県外	887,851	715,658	629,784	711,491	113.0%	80.1%
	海外	39,091	44,311	73,714	79,063	107.3%	202.3%
	計	2,516,332	2,057,745	2,126,690	1,991,173	93.6%	79.1%



* 年間の外国人観光客数が50人以下の地区は、グラフから除外しています。

3 観光地別月別入込状況



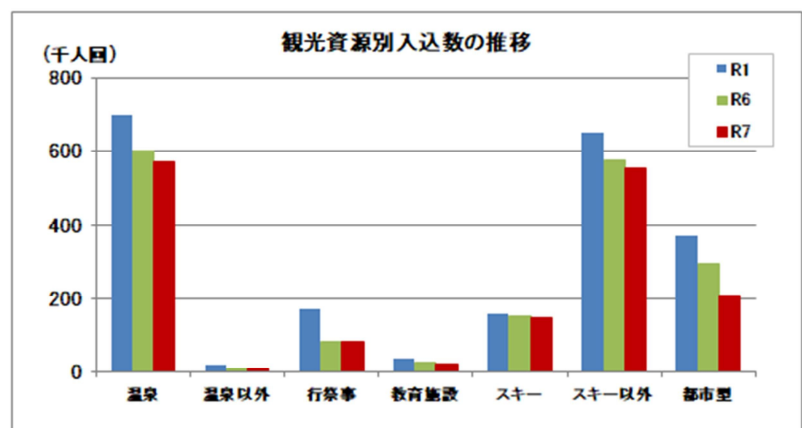
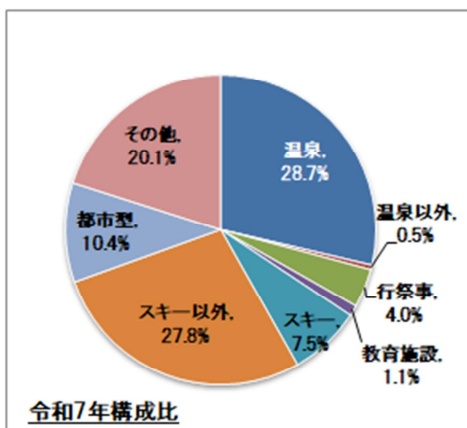
4 観光資源別入込状況

資源別に見ると、多くが減少となった。「行祭事」では、『雫石・冬フェスタ』は昨年同数だったが、『軽トラ市』の減少が影響した。「温泉」は、昨年より 31,582 人回減の約 95%。施設の閉館と休業の影響が大きかった。「スキー」は、シーズンを通して積雪も十分だったが昨年並み。「都市型観光」は 4 月、5 月の減少が響き引き続き減少、昨年の 7 割程度となった。

観光資源別入込数（人回）

	自然系観光資源		人文系観光資源	展示見学	野外活動施設		観光資源		合計
	温泉	温泉以外	行祭事	教育施設	スキー	スキー以外	都市型	その他	
R1	698,683	16,435	168,215	32,161	156,253	647,219	365,874	431,492	2,516,332
R6	602,145	9,155	83,900	25,075	149,383	573,492	293,517	390,023	2,126,690
R7	570,563	9,767	80,518	21,988	148,867	552,931	206,300	400,239	1,991,173
前年差	-31,582	612	-3,382	-3,087	-516	-20,561	-87,217	10,216	-135,517
対前年比	94.8%	106.7%	96.0%	87.7%	99.7%	96.4%	70.3%	102.6%	93.6%
R1年差	-128,120	-6,668	-87,697	-10,173	-7,386	-94,288	-159,574	-31,253	-525,159
対R1年比	81.7%	59.4%	47.9%	68.4%	95.3%	85.4%	56.4%	92.8%	79.1%
構成比(R6)	28.7%	0.5%	4.0%	1.1%	7.5%	27.8%	10.4%	20.1%	100.0%

※野外活動施設(スキー以外)には、屋内温水プール、登山などを含む。



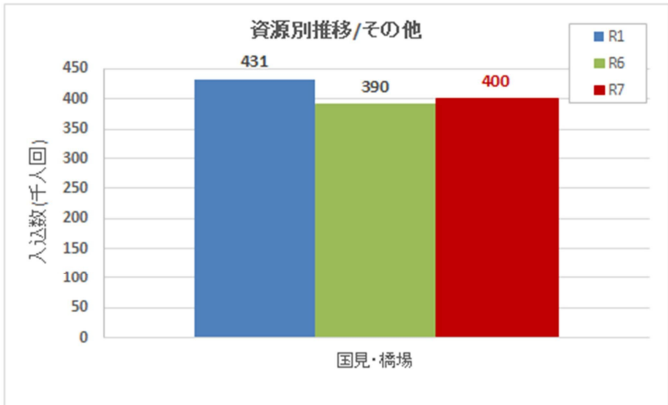
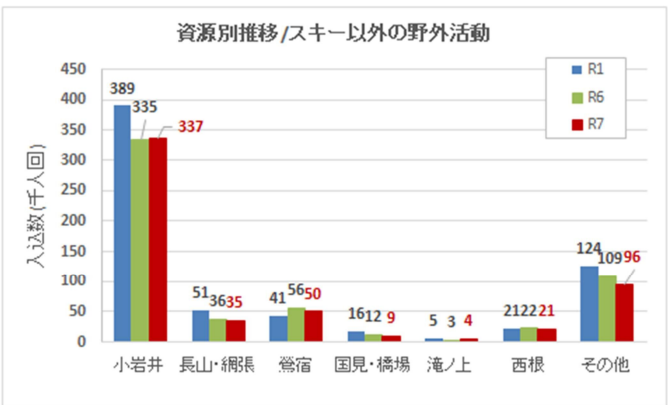
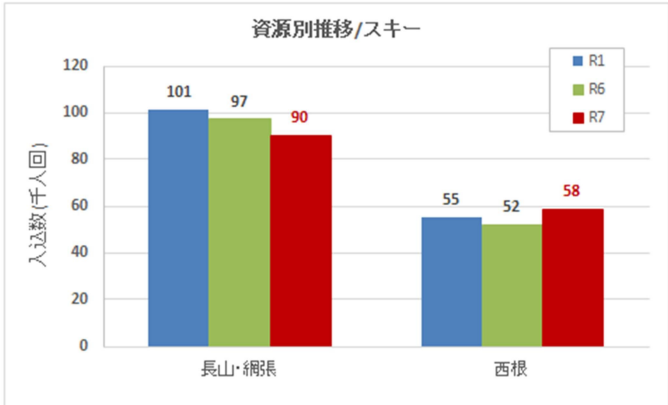
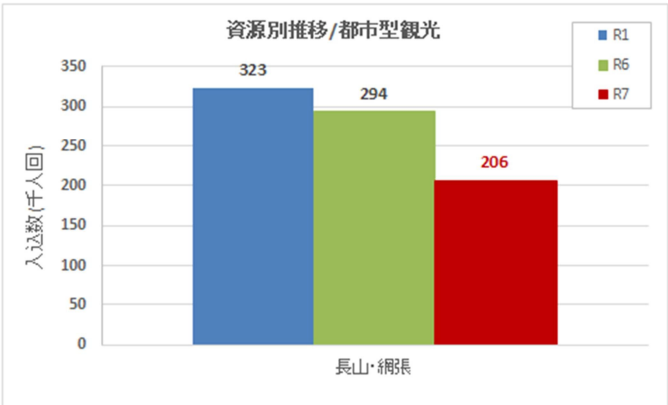
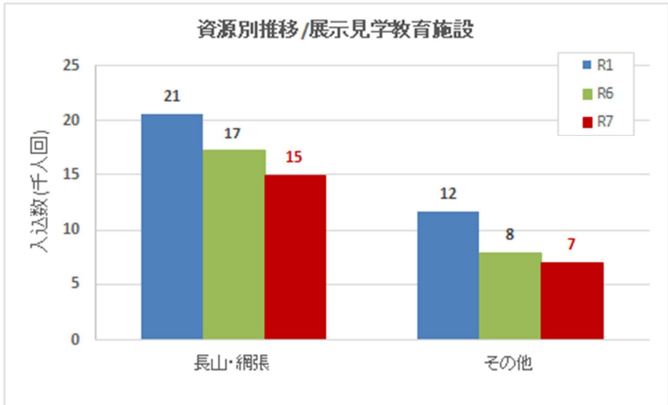
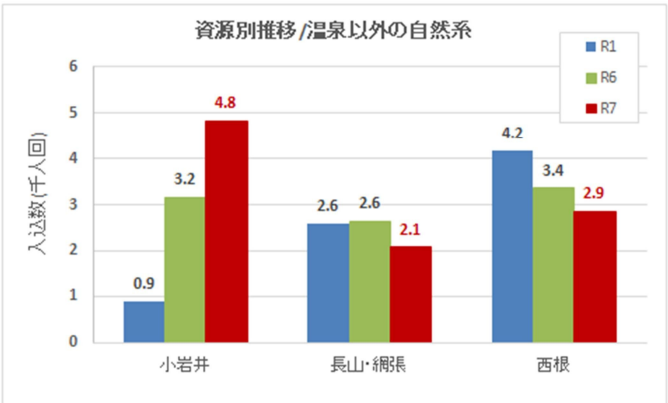
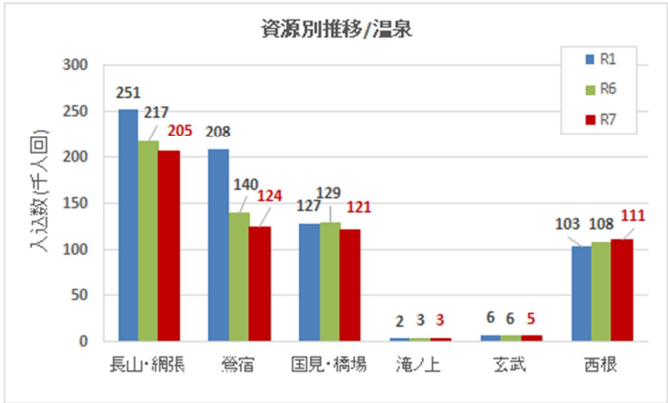
主な行祭事の入込数と対前年比（人回）

行祭事	R1	R6	R7	前年差引	前年比	R1差引	R1年比
いわて雪まつり	109,580	-	-	-	-	-	-
雫石・冬フェスタ	-	20,000	20,000	0	100.0%	-	-
軽トラ市	31,700	38,300	33,600	-4,700	87.7%	1,900	106.0%
雫石よしゃれ祭	7,300	6,000	5,500	-500	91.7%	-1,800	75.3%
南部よしゃれ全国大会	500	350	218	-132	62.3%	-282	43.6%
しずくいし産業まつり	17,000	18,000	20,000	2,000	111.1%	3,000	117.6%

* 「いわて雪まつり」は令和4年をもって開催終了

* 「軽トラ市」は、令和6、7年とも7月開催のゆう市来場者数を含む

資源別地区別入込推移



* いずれも該当する観光資源がある地区のみ表示

5 利用交通機関の状況

雫石町における観光レクリエーション客の主な利用交通機関は、多少の変化はあるもののほぼ変わらず「自家用車」の利用が最も多く、1,522,654人回で構成比は全体の76.5%となった。「貸切バス」の利用が増加したが、これは小岩井地区、長山・網張地区での増加による影響が大きい。「定期路線交通機関」の利用は主に新幹線等の鉄道、航空機によるものとみられるが、鶯宿温泉を中心にあねっこバスの利用も一定数あり、少なくとも100人ほどが利用したと見られ、昨年より増える傾向にある(網張方面でも利用者あり)。

利用交通機関の状況と前年比

(人回)

	定路線 交通機関	貸切バス	自家用車	その他	合計
R1	83,221	314,065	1,990,345	128,199	2,515,830
構成比(R1)	3.3%	12.5%	79.1%	5.1%	
R6	33,562	256,249	1,702,075	134,804	2,057,745
構成比(R6)	1.6%	12.0%	80.0%	6.3%	
R7	33,991	279,575	1,522,654	154,953	1,991,173
構成比(R7)	1.7%	14.0%	76.5%	7.8%	
前年比	101.3%	109.1%	89.5%	114.9%	
R1年比	40.8%	89.0%	76.5%	120.9%	

6 県外教育旅行客の入込状況

令和4年をピークに、本年も校数、のべ人数とも引き続き減少となった。

本年の県外からの教育旅行客は、のべ171校、人数がのべ10,090人回で、昨年と比較して学校数で33校の減、人数は2,575人回(前年比79.7%)減で、昨年に引き続き減少。コロナ禍前と比較すると学校数では27校上回っているものの、人数は3,130人下回る結果となった。1校あたりの平均人数も59.0人/校で過去最低を記録した。

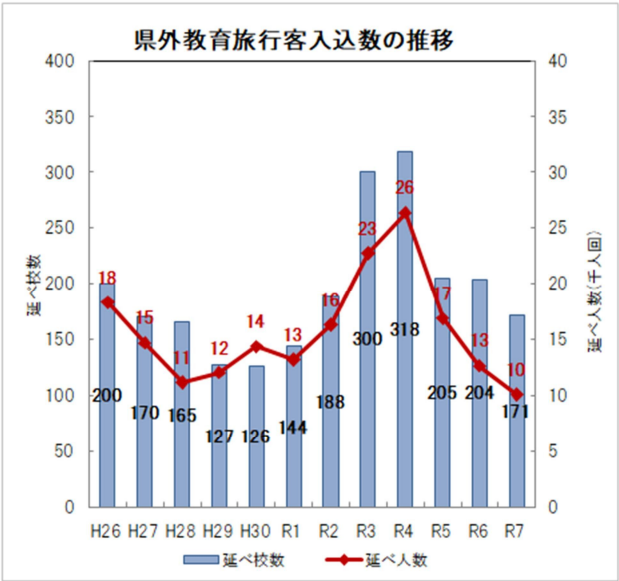
農業体験での教育旅行については、クマ出没への懸念から秋に1校がキャンセルとなったが、雫石町グリーン・ツーリズム推進協議会を通して春・秋で計9校、のべ856人回の受入れを行った(昨年とほぼ同数)。

コロナ禍の影響で遠方への旅行が自粛され、教育旅行の入込がピークとなった令和4(2022)年とのべ人数で比較すると、県外からの総数が38.2%、小学生と高校生ではそれぞれ33.9%、31.7%に減少した。令和4年には東北各県からの来訪が急増したが、定着せずコロナ禍の沈静化と共に波が引いてしまった感がある。

クマの市街地への出没多発の影響に関しては、10・11月の教育旅行の受入れが昨年より585人回の減、コロナ禍前の2,094人回の減となっており、少なからず影響はあったと見られる。農業体験に関しても、10月に1校(36人)がクマ出没への懸念からキャンセル、1校(76人)が農作業体験を取りやめ郷土食と工芸作り体験に変更となった。

学校種別では中学生が変わらず最多だが、全体の56.8%で3.5%減少。一方で小学生は9.2%と、昨年より3%ほど増加した。

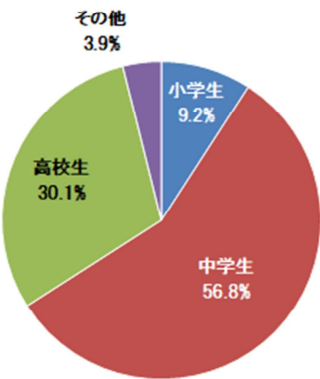
また県と共に誘致を目指している台湾からの教育旅行に関しては、本年も1月に台中第一高級中学の36名を受入れ。民宿に宿泊し、スキー体験や郷土食作り等の体験を行った。



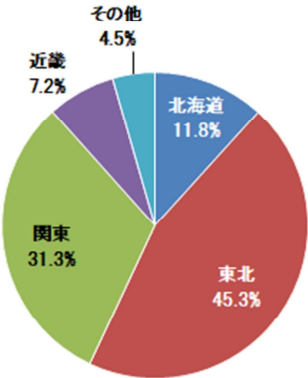
学校種別	校数	のべ人数
小学校	18	927
中学校	124	5,730
高校	23	3,038
その他	6	395
計	171	10,090

発地別	校数	のべ人数
北海道	29	1,187
東北	103	4,566
関東	29	3,160
中部	4	451
近畿	6	726
中国	0	0
四国	0	0
九州	0	0
沖縄	0	0
その他	0	0
計	171	10,090

県外教育旅行客の入込割合

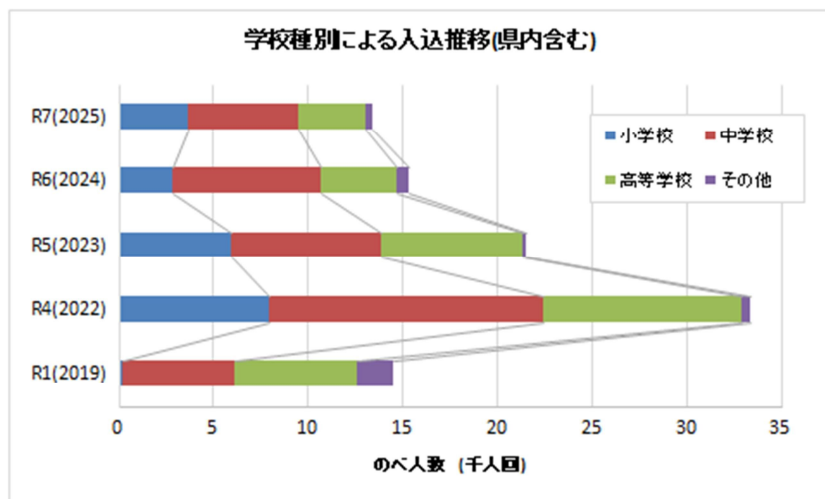


県外教育旅行客の地方別入込割合



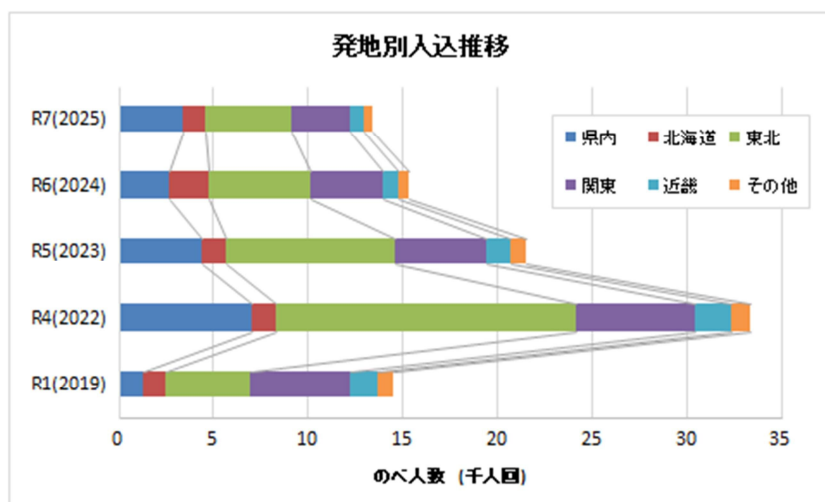
【学校種別】

最も多くを占める中学生だが、令和6年の73.7%に減少。高校生も引き続き減少し、同じく87.9%となった。一方で小学生は、昨年の131.4%でおよそ900人回の増加。小学生の増加には、町内および近隣からのスキー教室の増加、県内からの校外学習による増加が主な要因として考えられる。



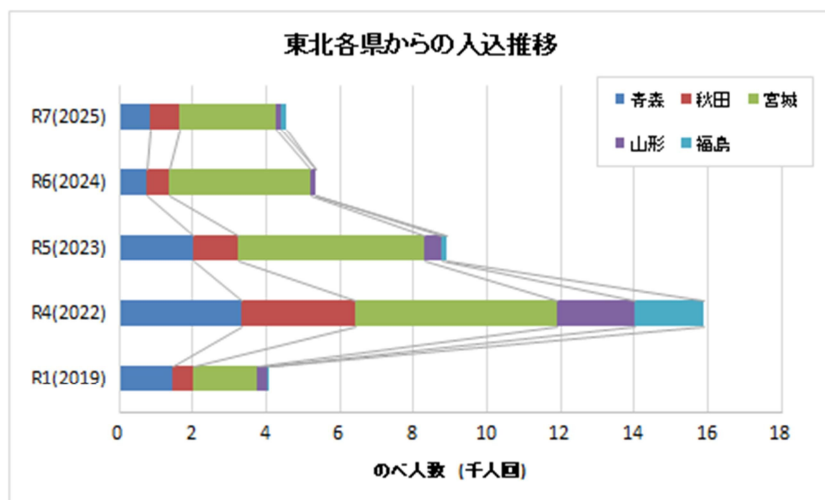
【発地別】

令和6年と比較すると県内からの来訪は125%ほどに増えたが、他の地域からは55%~96%に減少。教育旅行入込のピークだった令和4年との比較では北海道は微減に留まったものの、他の地区は30~50%ほどに減少。特に県内を除く東北各県からの来訪は28.7%と、大幅な減少となった。



【東北各県からの入込状況】

令和6年との比較では、青森県、秋田県からは2割程度増加したが、宮城県からの来訪は約1,200人回マイナス、3割ほど減少。コロナ禍前の令和元年より増加した県も多いが、ピークだった令和4年との比較では25~50%ほどで、山形県、福島県に至っては10%以下にまで減少。コロナ禍前も元々入込が少なかった2県ではあるが、入込増へのチャンスを活かすできなかったかもしれない。



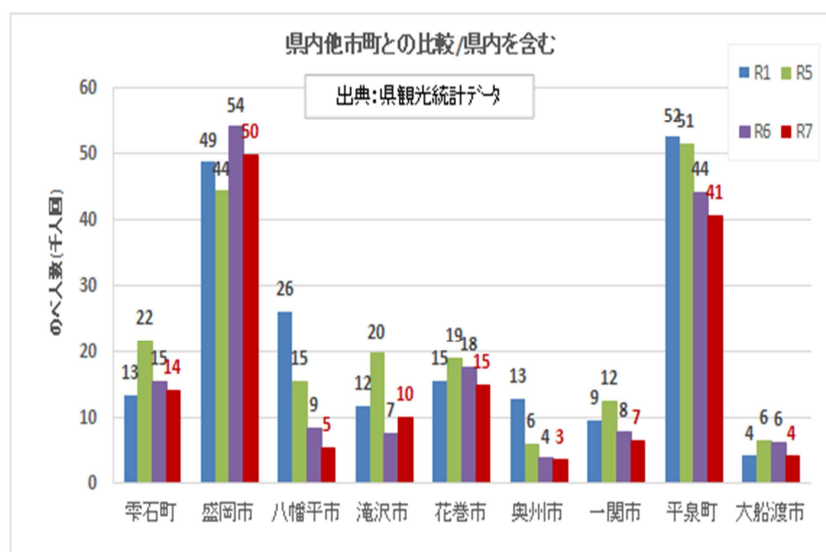
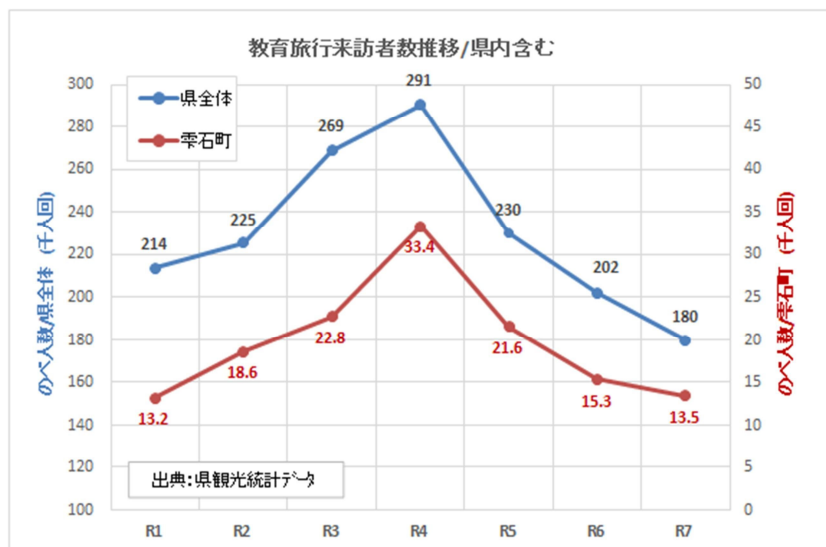
さらに県観光統計データから岩手県と他市町状況を見てみる。

岩手県全体ののべ人数は令和4年をピークに減少が続いており、前年比では22,725人回減の88.8%、コロナ禍前との比較でも34,162人回減の84.0%となった。ピークだった令和4年との比較では、110,988人回減の61.8%。

主な発地で見ると、北海道からが約12,000人回減の78.8%と昨年より大きく減少。関東からは約2,100人回、近畿からも2,500人回の減少となった。さらに、県内の人数も、約2,900人回減少した。

一方、主な市町毎に比較すると、昨年より増加したのは滝沢市のみで前年比134.8%。一方で八幡平市は同64.3%、花巻市が85.3%に減少した。特に八幡平市は減少が続いており、コロナ禍前の20%ほどまでに減少。平泉町も減少が続く、前年比では92.0%だが、コロナ禍前との比較では77.4%とおおよそ3/4となっている。

教育旅行に関しては、県全体として令和4年のピークの後、ここ3年減少が続いている。



7 外国人観光客の入込状況

外国人観光客に関しては、令和6年に続き、国全体の訪日外国人旅行者数増加の流れを受け、当町でも増加が続いたが、昨年、一昨年ほどの伸びとはならなかった。

本年の国全体の外国人観光客数は日本政府観光局(JNTO)による暫定値で、38,962,902人回だった。昨年の115.9%、コロナ禍前の令和元年との比較では137.9%となった。中国からの観光客数の失速により、伸びは小さくなったものの着実に増加を続けている。

町内への外国人観光客数は今年も過去最高を更新し、79,063人回を記録。前年比5,357人回増の107.3%、コロナ禍前との比較では39,972人回増の202.3%となった。10月の小ピークは見られなかったが、昨年同様グリーンシーズンの落ち込みが極端に大きくなかったこと、1月、特に2月のスキーシーズンの入込が多かったことが要因として考えられる。

また今年、旧正月の時期に合わせて1月18日から2月15日まで花巻⇄上海便が期間運行されたが、定期便の運航再開には至っていない。一方仙台空港では中国路線を含む国際定期便の再開が進んでおり、さらに12月にはエアアジアXによるバンコク便が就航し、LCCながらタイから東北地方への直行便が復活した。

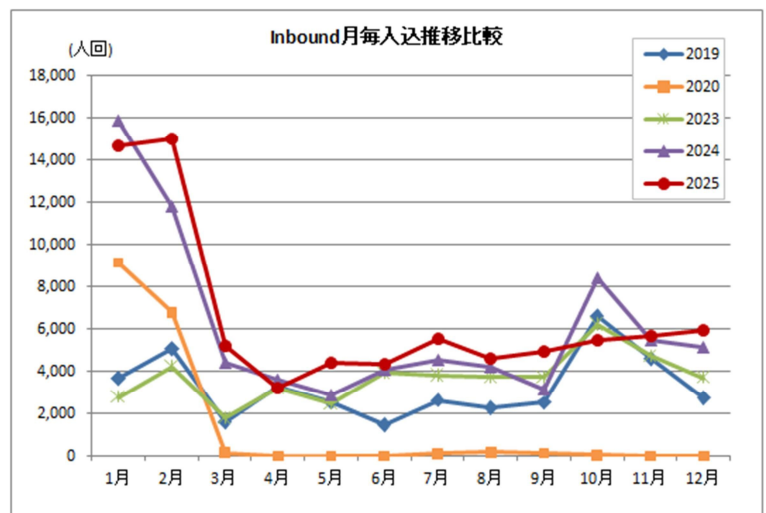
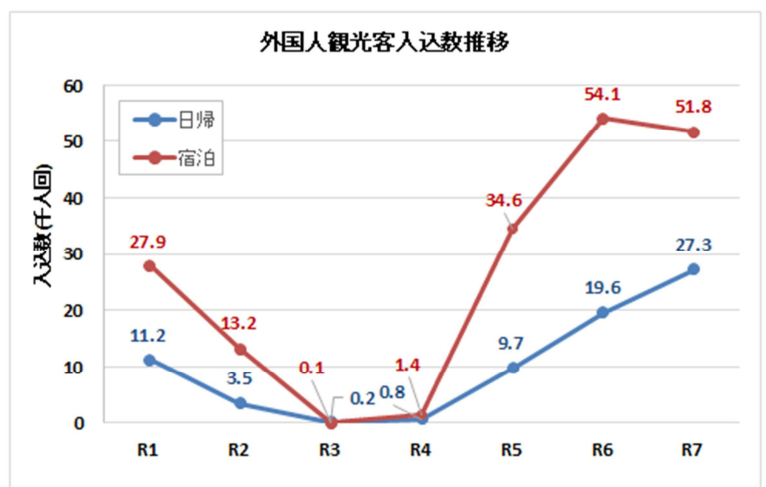
日帰/宿泊の別では、日帰客数は27,289人回で前年比7,722人回増の139.5%(R1年比16,099人回増/243.9%)、宿泊客数は51,774人回で前年比2,373人回減の95.6%(同23,873人回増/185.6%)だった。宿泊客数は昨年より減少したものの、日帰客数はコロナ禍前の約2倍に増加、宿泊客数も約1.8倍となっている。

月毎の推移を見ると、冬期の入込が変わらず多い。今年町内スキー場でカウントされた海外からの来訪者数は13,835人回で、昨年より2,053人回増の117.4%となった。オーストラリアからの人数は、全体でカウントされた人数では2,834人回で昨年より826人回増の141.1%(R1年比1,763人回増/264.6%)。その約96%を1月、2月、12月のスキーシーズンで占める。残念ながら「その他・不明」で報告されるケースが多く、すべてを把握できていないが、内訳の報告があるスキー場の構成比を参考に試算すると、プラス1,800人回ほどスキー場へのオーストラリアからの来訪があると推察される。

主要国・地域別の入込状況は次ページの通り。日帰り施設を中心に国・地域不明のケースが多いが、アジアからが全体のおよそ7割強を占め、次いでオセアニア、北米と続く。

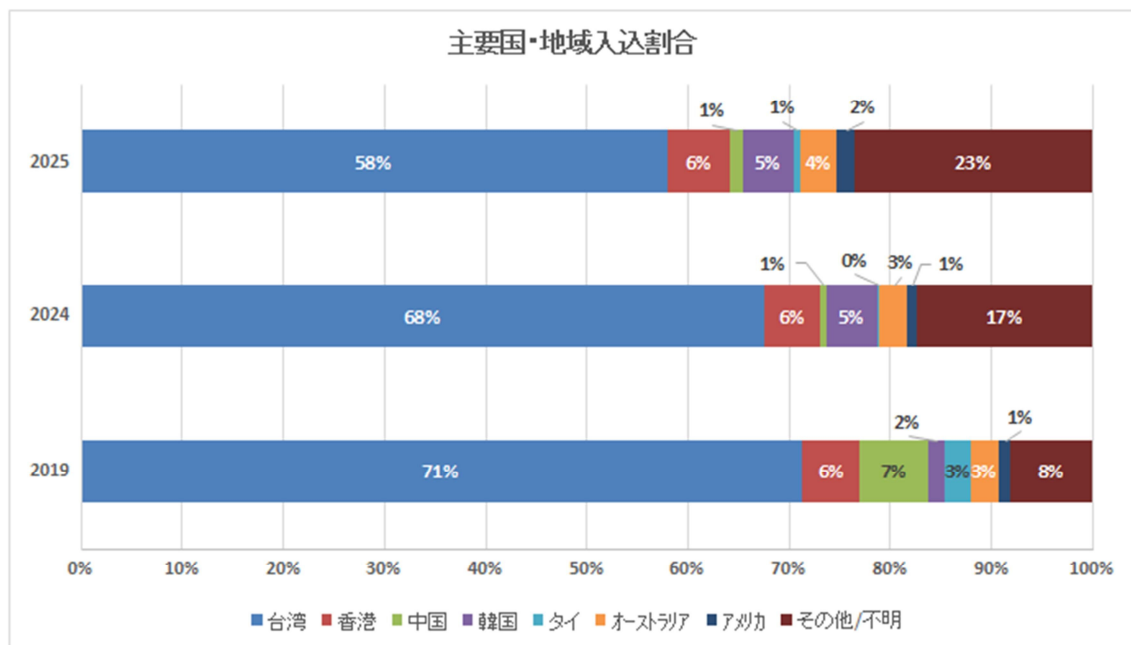
主要国・地域の内、最も多いのは変わらず台湾で、45,942人回と全体の58.1%を占めるが、前年比で3,222人回減の93.4%(R1年比18,035人回増/164.6%)、ツアーの中での1泊というケースが多いと見られ、宿泊での来訪が目立つ。第2位は4,882人回の香港で、前年比815人回増/120.0%(同2,658人回増/219.5%)、次いで3,952人回の韓国が続く。韓国は昨年大きな伸びを見せたが、今年は前年比266人回増/107.2%(同3,344人回増/650.0%)で緩やかな増加となった。昨年に続きゴルフでの来訪の増加に起因するとみられる。

日帰り施設を中心に来訪者の国・地域の確認がされず、「不明」として一括りに報告されるケースが多く、より正確な情報を得るためにも策を検討する必要がある。

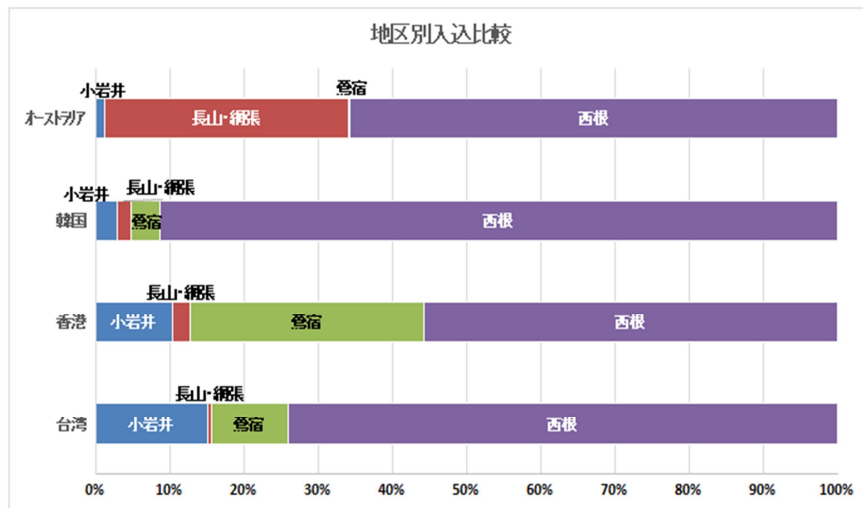


外国人観光客の入込状況（人回）

地域 国籍等		R1			R2			R6 (2024)			R7 (2025)		
		日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計
アジア	中国	1,938	712	2,650	32	248	280	111	314	425	52	940	992
	台湾	6,510	21,397	27,907	2,083	8,150	10,233	5,537	43,627	49,164	7,106	38,836	45,942
	香港	83	2,141	2,224	39	1,736	1,775	30	4,041	4,071	543	4,339	4,882
	韓国	258	350	608	12	60	72	1,531	2,155	3,686	1,533	2,419	3,952
	タイ	156	884	1,040	117	343	460	0	144	144	255	272	527
	シンガポール	64	188	252	2	33	35	8	172	180	48	326	374
	その他	261	328	589	163	52	215	192	479	671	177	506	683
オセアニア	オーストラリア	22	1,049	1,071	17	1,837	1,854	17	1,991	2,008	287	2,547	2,834
	その他	6	93	99	6	351	357	30	130	160	7	240	247
北 米	アメリカ	185	250	435	170	162	332	244	395	639	641	791	1,432
	カナダ	1	40	41	2	16	18	15	34	49	63	17	80
ヨーロッパ	イギリス	14	31	45	5	18	23	0	52	52	35	42	77
	フランス	4	66	70	1	3	4	3	11	14	9	29	38
	ドイツ	19	166	185	3	38	41	20	71	91	16	61	77
	スイス	0	19	19	3	4	7	0	15	15	13	18	31
	スウェーデン	6	0	6	0	0	0	7	0	7	0	6	6
	その他	57	84	141	96	149	245	186	67	253	157	152	309
中南米		38	40	78	8	0	8	93	30	123	111	6	117
アフリカ		2	0	2	0	0	0	1	0	1	3	4	7
不 明		1,566	63	1,629	740	0	740	11,542	419	11,961	16,233	223	16,456
合 計		11,190	27,901	39,091	3,499	13,200	16,699	19,567	54,147	73,714	27,289	51,774	79,063



入込の多い4ヶ国を地区別で見ると、全てで西根地区が最多となったが、香港に関しては鶯宿地区への入込が全体の3割だった。また、オーストラリアに関しては西根地区に次いで長山・網張地区の入込が多く、このことからスキー・スノーボード目的での来訪が多い。さらに韓国はゴルフ旅行誘致の効果もあり、西根地区が全体のおよそ9割を占めた。



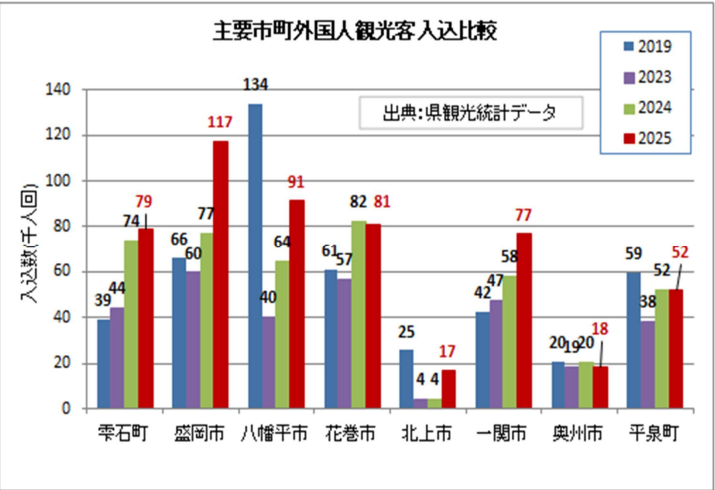
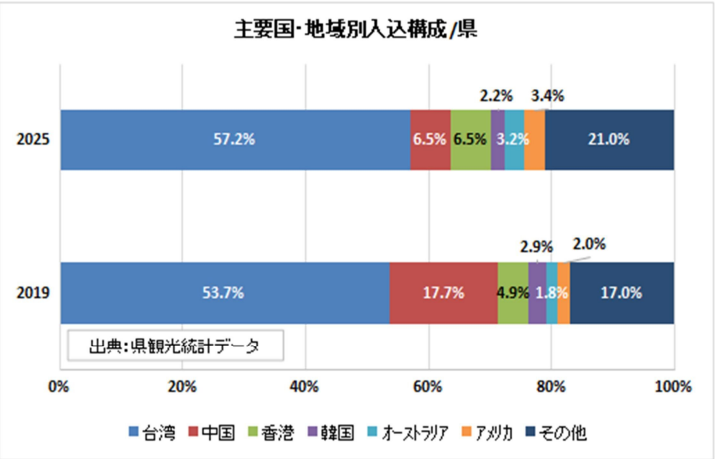
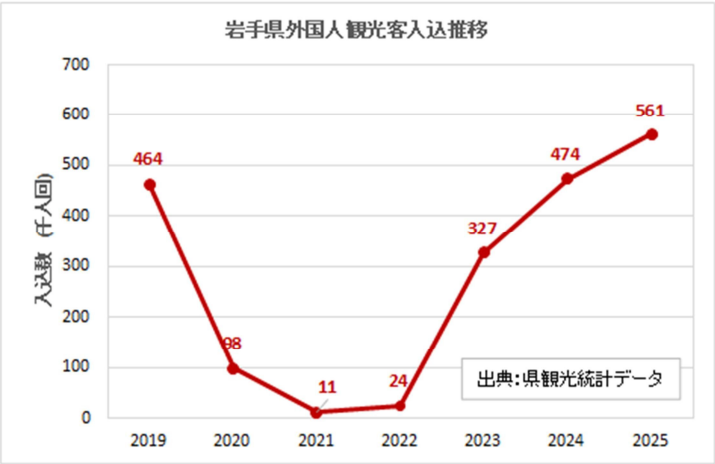
次に県の観光統計データから岩手県全体の状況を見てみる。

一昨年大きな入込増となった外国人観光客だが、今年伸びは鈍くなったものの増加は続いており、前年比 104,811 人回増の 123.0%となった。

主要な国・地域で入込の構成をコロナ禍前と比較すると、台湾が占める割合が全体の 6 割近くに上昇。香港、オーストラリア、アメリカの割合も増加した半面、中国からは渡航自粛の影響もあってか、コロナ禍前から 10%以上減少した。なお、韓国からの入込では、雫石町が 3,952 人回で県内の市町村の中では最も多くなった。

また主な他市町について見てみると、盛岡市の増加が目立つ。昨年より約 40,000 人回増の 152.6%と、ニューヨークタイムズ紙掲載の効果はあまり大きくないと思われたが、ここへきて顕著な伸びを見せた。また、八幡平市はコロナ禍前の 7 割ほどに留まっているが、順調な回復を見せている。

花巻空港への台湾定期便は好調を維持しており、スキー・スノーボード目的での来訪も目立つようになってきた。また今年 12 月には仙台とタイ/バンコクを結ぶ LCC が就航、今後タイからの観光客増加にも期待がかかる。

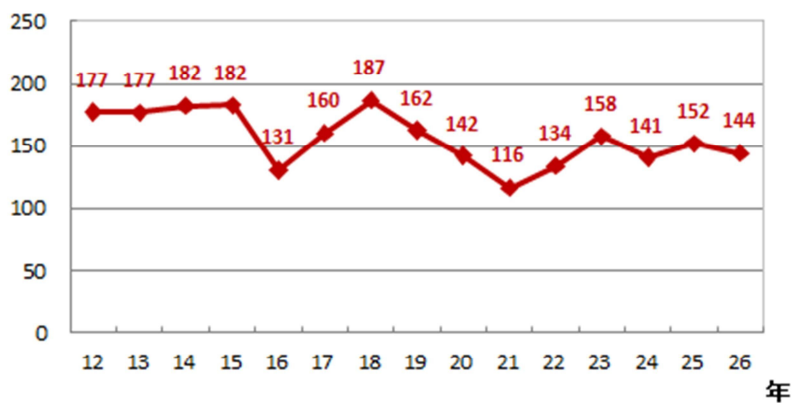


8 2025～2026シーズン・スキー客入込状況

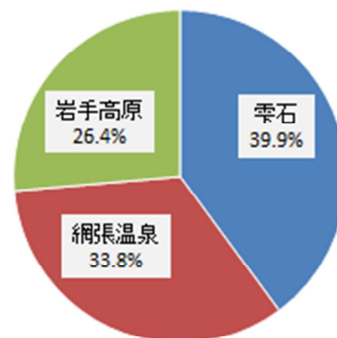
(単位:人回)

	年次	12月	1月	2月	3月	4月	計	備 考
栗石スキー場	12	3,728	18,293	18,577	9,600		50,198	12/22～3/20
	13	6,726	19,862	15,498	8,035		50,121	12/15～3/31
	14	7,990	17,993	18,699	10,189		54,871	12/14～3/30
	15	12,236	18,745	15,388	7,568		53,937	12/13～3/29
	16	2,994	11,489	11,011	5,498		30,992	12/23～3/27
	17	2,315	17,810	17,167	9,566		46,858	12/16～3/26
	18	7,613	22,138	21,140	9,658		60,549	12/16～3/25
	19	4,608	21,300	19,500	8,666		54,074	12/15～3/31
	20	5,400	21,740	19,020	5,720		51,880	12/21～3/29
	21	3,000	11,700	9,770	4,355		28,825	12/26～3/21
	22	4,100	16,620	14,900	7,540		43,160	12/25～3/27
	23	6,830	18,228	20,066	8,800		53,924	12/24～3/26
	24	4,141	20,161	19,064	6,408		49,774	12/23～3/24
	25	6,500	21,950	22,000	8,016		58,466	12/21～3/23
	26	6,500	20,640	22,080	8,180		57,400	12/20～3/22
網張温泉スキー場	12	3,510	18,659	15,447	12,940	1,330	51,886	12/23～4/1
	13	5,833	18,406	14,405	13,026	2,012	53,682	12/15～4/7
	14	5,524	18,332	14,351	13,459		51,666	12/14～3/30
	15	7,475	17,600	15,099	11,821	1,065	53,060	12/13～4/5
	16	2,067	16,465	13,488	10,310		42,330	12/28～3/27
	17	1,602	16,327	16,565	16,565	838	51,897	12/18～3/26、4/1・2
	18	6,830	18,797	16,953	12,047	168	54,795	12/16～4/1
	19	5,279	17,275	14,409	12,047		49,010	12/15～3/31
	20	2,860	17,025	15,757	10,190		45,832	12/21～3/29
	21	2,710	16,936	13,982	10,533		44,161	12/26～3/28
	22	3,286	17,788	15,670	10,481		47,225	12/25～3/27
	23	3,487	17,226	15,428	11,464		47,605	12/24～3/26
	24	2,875	19,170	18,524	13,671		54,240	12/23～3/31
	25	4,181	18,436	18,235	12,770		53,622	12/21～3/30
	26	4,668	15,909	15,516	12,524		48,617	12/20～3/29
岩手高原スノーパーク	12	7,233	34,543	22,343	9,840	1,262	75,221	12/22～4/8
	13	8,073	33,304	22,825	8,746		72,948	12/15～3/31
	14	11,274	31,006	22,090	11,128		75,498	12/14～3/30
	15	13,520	31,434	21,247	9,269		75,470	12/13～3/29
	16	5,748	26,818	18,586	6,126		57,278	12/23～3/27
	17	3,682	25,227	21,494	9,749	1,105	61,257	12/15～4/9
	18	11,574	28,418	21,634	8,995	723	71,344	12/9～4/8
	19	8,863	25,257	18,294	6,217	783	59,414	12/15～4/7
	20	4,245	21,072	14,035	4,842	262	44,456	12/15～4/5
	21	3,165	19,875	14,277	5,580	300	43,197	12/26～4/4
	22	2,367	19,016	14,468	6,344	1,116	43,311	12/18～4/10
	23	9,044	21,936	16,566	7,990	454	55,990	12/10～4/2
	24	3,475	14,190	12,177	6,678		36,520	12/23～3/31
	25	8,659	14,110	10,954	6,118		39,841	12/14～3/30
	26	5,110	13,823	12,289	6,733		37,955	12/13～3/31
合計	12	14,471	71,495	56,367	32,380	2,592	177,305	
	13	20,632	71,572	52,728	29,807	2,012	176,751	
	14	24,788	67,331	55,140	34,776	0	182,035	
	15	33,231	67,779	51,734	28,658	1,065	182,467	
	16	10,809	54,772	43,085	21,934	0	130,600	
	17	7,599	59,364	55,226	35,880	1,943	160,012	
	18	26,017	69,353	59,727	30,700	891	186,688	
	19	18,750	63,832	52,203	26,930	783	162,498	
	20	12,505	59,837	48,812	20,752	262	142,168	
	21	8,875	48,511	38,029	20,468	300	116,183	
	22	9,753	53,424	45,038	24,365	1,116	133,696	
	23	19,361	57,390	52,060	28,254	454	157,519	
	24	10,491	53,521	49,765	26,757	0	140,534	
	25	19,340	54,496	51,189	26,904	0	151,929	
	26	16,278	50,372	49,885	27,437	0	143,972	

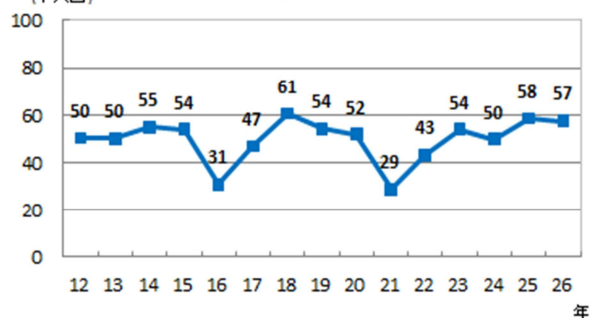
(千人回) 年次別スキー客入込推移(全体)



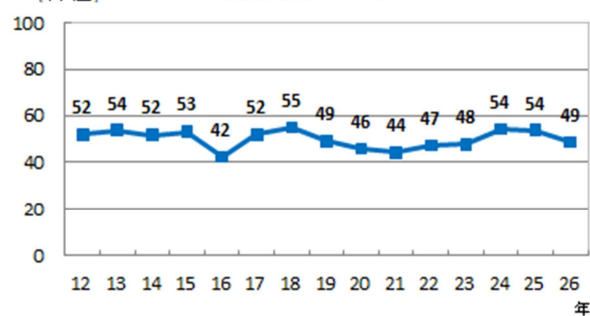
各スキー場の入込割合



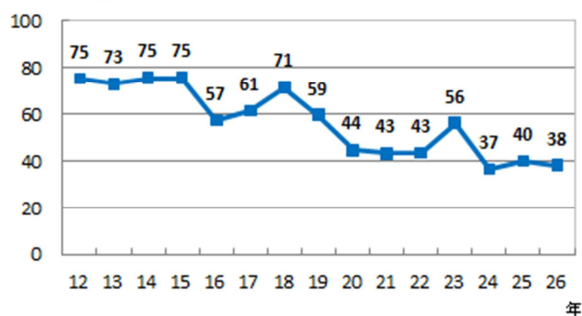
(千人回) 零石スキー場



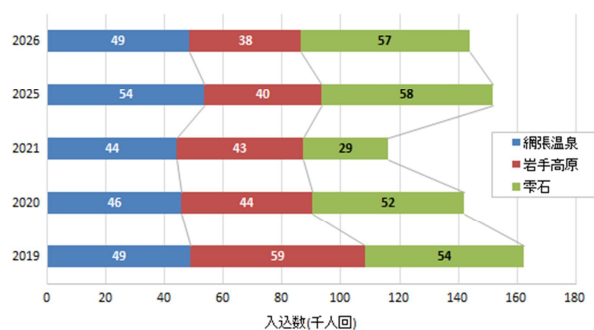
(千人回) 網張温泉スキー場



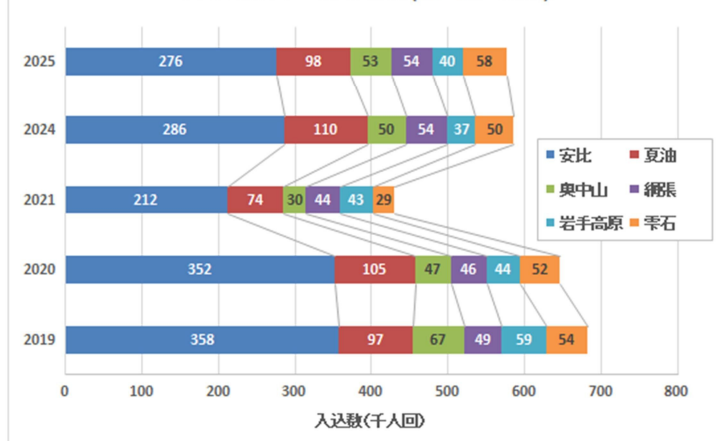
(千人回) 岩手高原スノーパーク



スキー客入込推移

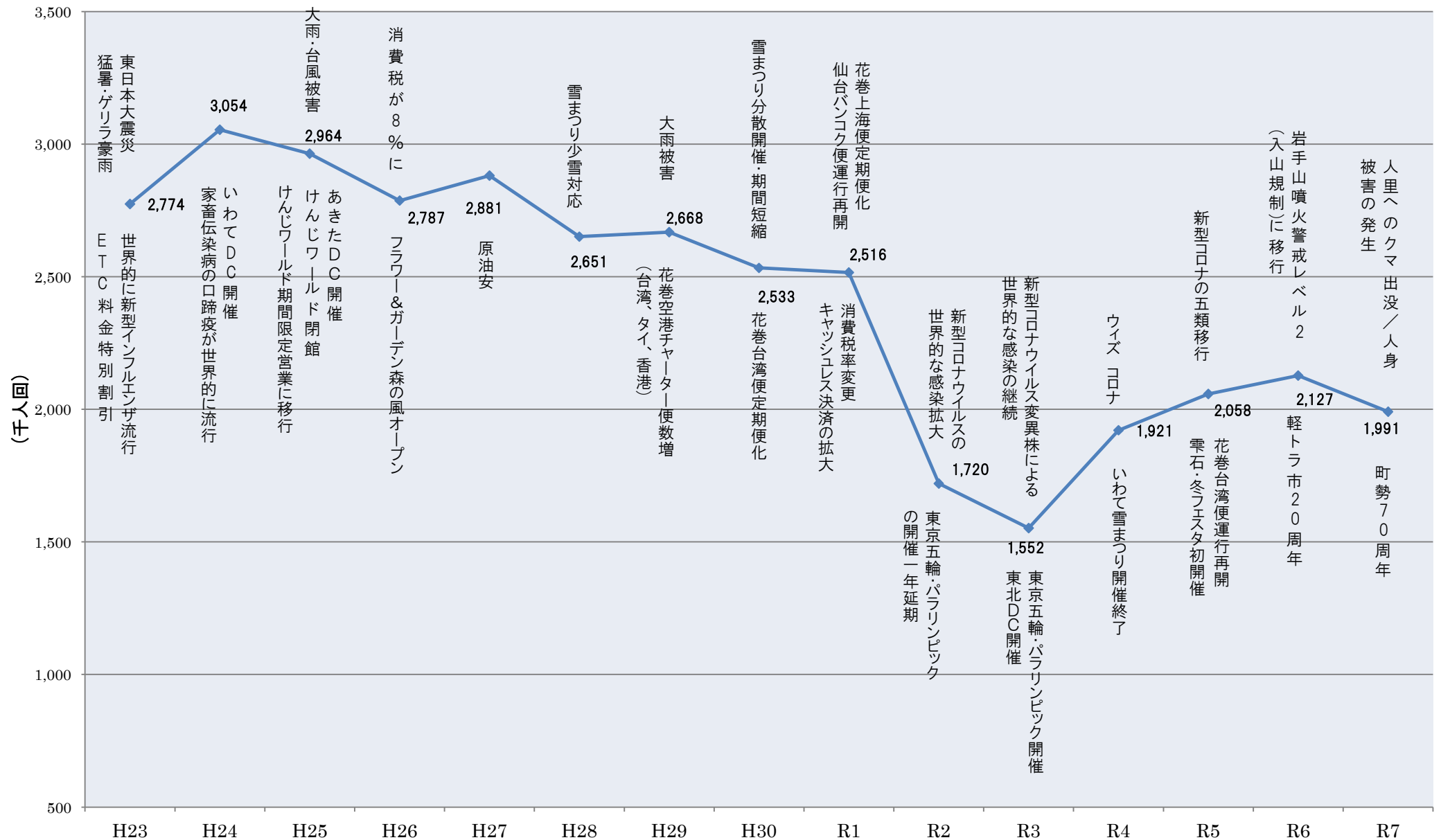


県内主要スキー場入込推移(12-3月で比較)



← 出典：県観光統計データ
(今シーズンのデータ公開前のため、
2024-2025 シーズンデータまで)

9 雫石町観光レクリエーション客入込数の推移（H23～R7）



(参考) 旧基準 (S57～H22 まで)

